

平成 1 9 年度

大分市美術館

年 報

## 目次

1. 運営方針	4
2. 沿革	5
3. 展覧会事業	6
1. 特別展	6
2. 常設展	39
3. サマー企画	49
4. 教育普及事業	53
1. ハイビジョンシステム	53
2. ハイビジョンシアター	56
3. 芸術・文化に親しむ講座	57
4. 実技講座	57
5. アートカレッジ	57
6. 美術館で音楽会	58
7. 子ども講座	58
8. 出前鑑賞教室	59
9. 職場体験	60
10. ボランティア研修講座	60
11. ボランティア活動	61
12. 博物館実習	62
13. 各種刊行物	62
5. 資料収集事業	63
1. 美術品等収集事業	63
2. 平成19年度作品貸出実績	64
3. 図書	65
4. 映像資料	65
6. 管理運営	66
1. 職員数	66
2. 事務分掌	66
3. 利用状況	67
4. 建築設備概要	68
5. フロア別面積	70
6. 決算	71
7. 利用案内	71
8. 条例	72
9. 条例施行規則	72

7. アートプラザ	73
1. 運営方針	73
2. 施設概要	73
3. 業務内容	73
4. 現代美術作品 大分市美術館所蔵 常設展示	75
5. 利用案内	76
6. 利用状況	76
7. アートプラザ条例	77
8. アートプラザ条例施行規則	77
9. アートプラザ管理規則	77

## 1. 運営方針

大分市美術館は、緑豊かな上野丘公園内に位置し、「たのしんで・みて・まなぶ」美術館として、だれもが気軽に美術を楽しめる場と機会を提供している。年間を通じて所蔵の美術品が鑑賞できる常設展やさまざまな優れた分野の美術を紹介する特別展の開催、各種講座・講演会の開催など、子どもから大人までが生涯学習の施設として「幅広く楽しめる」美術館の運営をめざしている。また、

- ① 豊後南画をはじめ、大分市にゆかりのある作家の優れた作品
- ② 美術史的展望に立ち、近・現代を中心とした芸術的に価値のある内外の作品
- ③ 将来方向として重視される環太平洋地域の美術についての作品
- ④ 歴史的文化遺産として貴重な美術資料

以上の方針に基づく収集保存活動をはじめとして、調査研究活動、展示活動、教育普及活動、広報活動という5つの活動を通じて、幅広く芸術文化の振興につとめている。

## 2. 沿革

昭和 60(1985)年		展示用美術品の購入開始
昭和 62(1987)年	6 月	市長、6 月議会において、美術館建設を表明 教育委員会社会教育課を所管事務担当とする
昭和 63(1988)年	8 月	大分市美術館基本構想委員会設置(委員 15 名、会長高辰雄画伯)
平成元(1989)年	3 月	ハイビジョン・シティ構想(郵政省)のモデル都市指定を受ける
	9 月	大分市美術館基本構想委員会が大分市美術館基本構想を答申
平成 2(1990)年	2 月	大分市美術館建設委員会設置(委員 17 名、会長高山辰雄画伯)
	4 月	教育委員会庶務課に美術館建設事務従事を置く
	5 月	美術館建設予定地を上野丘陵地に決定 (第 2 回大分市美術館建設委員会)
	6 月	(仮称)大分市美術館美術作品収集委員会設置要綱制定(委員 9 名)
平成 3(1991)年	4 月	設計者を内井昭蔵建築設計事務所と決定 (指名 5 社プロポーザル方式、第 4 回大分市美術館建設委員会)
	9 月	上野丘公園が「平成記念子どものもり公園(建設省)」に指定される
	10 月	市長、「美術館建設計画の見直し」を発表
平成 5(1993)年	4 月	教育委員会文化振興課を所管事務担当とする
平成 6(1994)年	12 月	市長、定例記者会見で旧県立図書館(磯崎新氏設計)の大分市での有効活用を発表
平成 7(1995)年	4 月	旧県立図書館を大分市が無償貸与を受ける
	9 月	美術館基本・実施設計委託(内井昭蔵建築設計事務所)
	12 月	美術館基本設計終了
平成 8(1996)年	4 月	教育委員会に美術館建設準備室を設置
	5 月	美術館実施設計完了
	9 月	美術館敷地造成工事着工
	12 月	美術館敷地造成工事完成 美術館新築工事着工
平成 10(1998)年	6 月	美術館本体工事完成
	9 月	美術館外構工事完成「大分市美術館条例」制定
	12 月	大分市美術館発足
平成 11(1999)年	2 月	17 日、開館
平成 12(2000)年	11 月	第 41 回建築業協会賞受賞
平成 14(2002)年	2 月	観覧者が 50 万人を超える
平成 16(2004)年	7 月	16 日、皇太子殿下行啓
平成 18(2006)年	4 月	機構改革により二課体制を一課とし、美術振興課設置
平成 19(2007)年	8 月	観覧者が 100 万人を超える

### 3. 展覧会事業

#### 3. 1. 特別展

##### 3. 1. 1. 高山辰雄・浜田知明・赤瀬川原平そして黒澤明の版画世界 —人と社会を見つめて—

概 要 大分市美術館では、現在まで日本画、洋画等の美術品 1,800 点余りを収集し、この内版画作品は約 700 点にのぼっている。

本展では、人と社会を鋭い視点で捉え、独自の作品を生み出した、現代日本を代表する美術家高山辰雄（1912～2007）、浜田知明（1917～）、赤瀬川原平（1937～）に加え、映画界の巨匠黒澤明（1910～1998）の魅力あふれる版画の世界を紹介した。

会 期 平成 19 年 4 月 20 日（金）～5 月 20 日（日） 公開日数 28 日

後 援 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

出品点数 72 点

観覧者数 2,354 人

観 覧 料 一般 300（250）円/高大生 200（150）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

展示解説 ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場 所 企画展示室

参加者 47 名

印刷物 ポスター B2 判、チラシ A4 判

関連記事 「高山、浜田、赤瀬川、黒澤 4 氏の版画世界紹介」『西日本新聞』4 月 18 日

「大分市美術館で版画世界展」『大分合同新聞』4 月 21 日

「大分市美術館で特別展「版画世界」」『大分合同新聞』4 月 26 日

（担当／岡村）

目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	高山辰雄	聖家族 I	1976	14.7×18.0	エッチング
2	高山辰雄	聖家族 II	1976	32.6×23.5	エッチング
3	高山辰雄	聖家族 III	1976	36.0×29.0	エッチング
4	高山辰雄	聖家族 IV	1976	36.0×29.5	エッチング
5	高山辰雄	聖家族 V	1976	36.3×29.3	エッチング
6	高山辰雄	聖家族 VI	1976	35.3×28.8	エッチング
7	高山辰雄	聖家族 VII	1976	32.1×23.3	エッチング
8	高山辰雄	聖家族 VIII	1976	36.3×29.8	エッチング
9	高山辰雄	聖家族 IX	1976	32.7×23.8	エッチング
10	高山辰雄	聖家族 X	1976	25.8×34.2	エッチング
11	高山辰雄	聖家族 X I	1976	28.8×35.8	エッチング
12	高山辰雄	聖家族 X II	1976	23.8×32.8	エッチング
13	高山辰雄	聖家族 X III	1976	29.7×36.4	エッチング
14	高山辰雄	聖家族 X IV	1976	23.3×32.3	エッチング
15	高山辰雄	聖家族 X V	1976	23.8×32.5	エッチング
16	高山辰雄	聖家族 X VI	1976	26.3×34.5	エッチング
17	高山辰雄	すがた 1	1996	35.5×30.0	リトグラフ
18	高山辰雄	すがた 2	1996	35.5×30.0	リトグラフ
19	高山辰雄	すがた 3	1996	35.5×30.0	リトグラフ
20	高山辰雄	すがた 4	1996	35.5×30.0	リトグラフ
21	高山辰雄	すがた 5	1996	35.5×30.0	リトグラフ
22	高山辰雄	すがた 6	1996	35.5×30.0	リトグラフ
23	高山辰雄	すがた 7	1996	35.5×30.0	リトグラフ
24	高山辰雄	すがた 8	1996	35.5×30.0	リトグラフ
25	高山辰雄	すがた 9	1996	35.5×30.0	リトグラフ
26	高山辰雄	すがた 10	1996	35.5×30.0	リトグラフ
27	高山辰雄	玄乃玄 1	2006	55.5×37.0	リトグラフ
28	高山辰雄	玄乃玄 2	2006	55.5×37.0	リトグラフ
29	高山辰雄	玄乃玄 3	2006	55.5×37.0	リトグラフ
30	高山辰雄	玄乃玄 4	2006	55.5×37.0	リトグラフ
31	高山辰雄	玄乃玄 5	2006	55.5×37.0	リトグラフ
32	高山辰雄	玄乃玄 6	2006	55.5×37.0	リトグラフ
33	高山辰雄	玄乃玄 7	2006	55.5×37.0	リトグラフ
34	高山辰雄	玄乃玄 8	2006	55.5×37.0	リトグラフ
35	高山辰雄	玄乃玄 9	2006	37.0×55.5	リトグラフ
36	高山辰雄	玄乃玄 10	2006	37.0×55.5	リトグラフ
37	高山辰雄	玄乃玄 11	2006	37.0×55.5	リトグラフ
38	高山辰雄	玄乃玄 12	2006	37.0×55.5	リトグラフ
39	高山辰雄	玄乃玄 13	2006	37.0×55.5	リトグラフ
40	高山辰雄	玄乃玄 14	2006	37.0×55.5	リトグラフ
41	浜田知明	せかせか	1975	26.8×28.4	エッチング・アクアチント
42	浜田知明	いらいら (B)	1975	36.2×28.0	エッチング・アクアチント
43	浜田知明	ややノイローゼ気味 (版画集「曇後晴」)	1975	22.4×14.5	エッチング・アクアチント

44	浜田知明	叫び (版画集「曇後晴」)	1975	21.5×21.6	エッチング・アクアチント
45	浜田知明	顔 (版画集「曇後晴」)	1976	22.0×15.2	エッチング
46	浜田知明	お先真っ暗(版画集「曇後晴」)	1976	23.4×12.1	エッチング・アクアチント
47	浜田知明	心情不安定 (版画集「曇後晴」)	1976	21.8×16.1	エッチング・アクアチント
48	浜田知明	気にしない気にしない (版画集「曇後晴」)	1976	28.6×14.6	エッチング・アクアチント
49	浜田知明	何とかなるさ(版画集「曇後晴」)	1976	21.6×16.5	エッチング・アクアチント
50	浜田知明	かげ (版画集「曇後晴」)	1977	21.7×15.3	エッチング・アクアチント
51	浜田知明	浮上 (版画集「曇後晴」)	1977	22.2×18.1	エッチング・アクアチント
52	浜田知明	家族 (版画集「曇後晴」)	1977	19.4×16.0	エッチング・アクアチント
53	赤瀬川原平	トマソン黙示録 真空の踊り場・四谷階段	1988	36.4×51.5	オフセット
54	赤瀬川原平	トマソン黙示録 歩行者用のダム	1988	36.4×51.5	オフセット
55	赤瀬川原平	トマソン黙示録 通り抜けた家	1988	36.4×51.5	オフセット
56	赤瀬川原平	トマソン黙示録 無用の庇窓の夢	1988	36.4×51.5	オフセット
57	赤瀬川原平	トマソン黙示録 午後3時・影の越境するとき	1988	36.4×51.5	オフセット
58	赤瀬川原平	トマソン黙示録 雨上がりの体重計	1988	36.4×51.5	オフセット
59	赤瀬川原平	トマソン黙示録 風のレコード	1988	36.4×51.5	オフセット
60	赤瀬川原平	トマソン黙示録 凹んだ凸・両性具有	1988	36.4×51.5	オフセット
61	赤瀬川原平	トマソン黙示録 同じ日のハレー彗星	1988	36.4×51.5	オフセット
62	赤瀬川原平	トマソン黙示録 セメントーフ	1988	36.4×51.5	オフセット
63	赤瀬川原平	トマソン黙示録 干渉縞	1988	36.4×51.5	オフセット
64	赤瀬川原平	トマソン黙示録 駐車場の主	1988	36.4×51.5	オフセット
65	赤瀬川原平	トマソン黙示録 なおも画鋏で留めた記憶	1988	36.4×51.5	オフセット
66	赤瀬川原平	トマソン黙示録 獐猛な肛 (テールランプ) 門	1988	36.4×51.5	オフセット
67	黒澤 明	乱 狂阿彌	1985	49.0×36.0	リトグラフ
68	黒澤 明	乱 針鼠	1985	49.0×36.0	リトグラフ
69	黒澤 明	乱 末の方最期	1985	36.0×49.0	リトグラフ
70	黒澤 明	乱 一文字秀虎	1985	36.0×49.0	リトグラフ
71	黒澤 明	乱 楓の方	1985	49.0×36.0	リトグラフ
72	黒澤 明	乱 次郎の陣	1985	36.0×49.0	リトグラフ

### 3.1.2. 郷土在住作家展 I 仲町謙吉展

**概要** 仲町謙吉は、1920（大正9）年、臼杵市に生まれた。大分県師範学校を経て、1940（昭和15）年、東京美術学校師範科に進み、1943（昭和18）年には《深田石仏》で文展に初入選を果たした。その後、日展、光風会展を中心に作品発表を続け、大分の石造美術を素材として、風格ある石仏を安定感に満ちた画風の中に展開した。

また、高等女学校、大分大学等で教鞭をとる一方、大分県美術協会や大分県造形教育研究会などの発展に尽力し、大分県美術協会会長、大分県芸術文化振興会議会長などを歴任し、大分県の美術・芸術の振興に寄与した。1979（昭和54）年、大分大学教育学部長、1984（昭和59）年、同大学名誉教授、1994（平成6）年には、勲三等旭日中綬章を受章した。

本展では、仲町謙吉の画業の足跡をたどり、その全貌を紹介した。

**会期** 平成19年6月5日（火）～6月21日（木） 公開日数 15日

**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社

**後援** NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

**出品点数** 油彩54点及び関連資料（案内状、書簡）2点

**観覧者数** 2,326人

**観覧料** 一般500（400）円/高大生300（250）円、中学生以下無料

※（ ）内は20人以上の団体料金

**作家トーク** 6月9日 午後2時～3時30分 ハイビジョンホール 168人

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

**日時** 会期中毎週水曜日 午後2時～

**場所** 企画展示室

**参加者** 65名

**印刷物** ・ポスターB2判・チラシA4判・パンフレットA3判二つ折り

**関連記事** 「おおいた文化 郷土在住作家展 I」『大分合同新聞』5月31日

「地域密着の美術館 郷土在住作家展の意義」『大分合同新聞』6月7日

「郷土在住作家展 I 仲町謙吉展から 上」『大分合同新聞』6月8日

「郷土在住作家展 I 仲町謙吉展から 下」『大分合同新聞』6月9日

「仲町謙吉展 石仏画見応え十分」『大分合同新聞』6月14日

「仲町謙吉展作家トーク」『大分合同新聞』6月18日

（担当／大神）

目録

No.	作 品 名	制 作 年	寸 法 ( c m )	素 材 ・ 技 法	所 蔵 ・ 出 品 歴 ・ 他
1	深田石仏	1943	116.5×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第6回新文展
2	苔むす深田石仏	1946	91.0×116.5	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵
3	ゆかたの女	1956	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第12回日展
4	ひまわり	1958	90.9×116.7	油彩、キャンバス	第44回光風会展
5	きものの女	1961	162.1×130.3	油彩、キャンバス	第4回新日展
6	茶色の服	1961	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第47回光風会展
7	雪の別府連山	1961頃	41.0×106.0	油彩、キャンバス	
8	花	1963頃	130.3×97.0	油彩、キャンバス	
9	K子	1965	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第6回新日展
10	オーバーの女	1965	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第51回光風会展
11	花と少女	1965	90.0×64.0	油彩、キャンバス	
12	人物S	1968	162.0×130.3	油彩、キャンバス	第54回光風会展
13	けし	1969	90.9×65.2	油彩、キャンバス	大分市蔵
14	春遠からじ	1975	162.0×97.0	油彩、キャンバス	第61回光風会展
15	子ども	1981	72.7×116.7	油彩、キャンバス	
16	出会い	1981	116.7×72.0	油彩、キャンバス	第17回大分県美術展
17	求	1982	162.0×97.0	油彩、キャンバス	第13回県美展
18	流転	1982	145.5×112.0	油彩、キャンバス	第18回県美展
19	仏と椿	1982	162.0×97.0	油彩、キャンバス	
20	残色	1983	162.0×130.3	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第19回新日展
21	仏Ⅱ	1983	193.9×259.1	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
22	菩薩	1983	193.9×130.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
23	仏Ⅲ	1983	162.1×130.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
24	地蔵	1983	181.8×227.3	油彩、キャンバス	鞆鞆美術館一時保管
25	仏頭Ⅰ	1983	162.1×130.3	油彩、キャンバス	大分市美術館蔵 第 19回県美展
26	仏頭Ⅱ	1983	130.3×162.1	油彩、キャンバス	
27	宙	1984	162.1×130.3	油彩、キャンバス	大分市美術館蔵 第 20回県美展
28	仏	1985	162.1×130.3	油彩、キャンバス	
29	峠	1992	116.7×91.0	油彩、キャンバス	
30	仏	1992	116.7×91.0	油彩、キャンバス	第28回県美展 大分 県美術協会賞
31	耀	1994	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
32	残彩	1994	116.7×91.0	油彩、キャンバス	
33	仏	1995	114.0×89.0	油彩、キャンバス	

34	九重高原	1995	44.5×52.0	油彩、キャンバス	
35	仮面のおもい	1996	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
36	青い鳥・天華	1997	117.2×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第33回県美展
37	大日如来	1997	44.0×52.0	油彩、キャンバス	
38	火の鳥「阿」	1998	116.5×91.0	油彩、キャンバス	大分県立芸術会館蔵 第34回県美展
39	仁王（吽）	1998	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
40	仁王（吽）	1998	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
41	大日如来	1998	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
42	法輪	2000	114.0×89.0	油彩、キャンバス	
43	秋深し	2005	89.4×145.5	油彩、キャンバス	
44	ぼたん	2005	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
45	仁王 I	2007	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
46	仁王 II	2007	116.7×90.9	油彩、キャンバス	
47	ひまわり	制作年不詳	44.0×36.8	油彩、キャンバス	
48	由布早春	制作年不詳	30.8×39.8	油彩、キャンバス	
49	磨崖仏	制作年不詳	44.0×31.5	油彩、キャンバス	
50	残像	制作年不詳	71.0×60.0	油彩、キャンバス	
51	仁王（阿）	制作年不詳	59.0×48.8	油彩、キャンバス	
52	由布秋深し	制作年不詳	52.0×72.0	油彩、キャンバス	
53	青い鳥・石仏三尊	制作年不詳	115.0×89.0	油彩、キャンバス	
54	仁王（吽）	制作年不詳	114.0×89.0	油彩、キャンバス	

### 3. 1. 3. 郷土在住作家展 I 脇正人展

**概要** 脇正人は、1926（大正 15）年、大分市に生まれた。大分師範学校を卒業後、小学校、中学校の教諭を務める一方で、1954（昭和 29）年、自由美術協会展に初入選し、以後同展を主舞台として活躍を続けた。

1957（昭和 32）年の I（鬻）会以降、大分前衛美術会、7 人の会、潮流展、の結成に参加、1986（昭和 61）年には、新潮流の会代表となるなど大分県の美術会をリードしてきた。1959（昭和 34）年、自由美術協会展で佳作賞を受賞、1966（昭和 41）年、自由美術協会会員。1986（昭和 61）年、自由美術協会展で平和賞、1989（平成元）年、自由美術協会展で自由美術賞を受賞。1991（平成 3）年、大分県美術協会長に就任し、2001（平成 13）年には、大分県芸術文化振興会議会長を務めた。

本展では、脇正人の画業の全貌を紹介した。

**会期** 平成 19 年 6 月 23 日（土）～7 月 8 日（日） 公開日数 15 日

**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社

**後援** NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

**出品点数** 油彩 55 点及び素描 2 点

**観覧者数** 1,270 人

**観覧料** 一般 500（400）円/高大生 300（250）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 人以上の団体料金

**作家トーク** 6 月 23 日 午後 2 時～3 時 30 分 ハイビジョンホール 132 人

**展示解説** ■美術館職員による展示解説（要観覧料）

日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

場 所 企画展示室

参加者 53 名

**印刷物** ・ポスター B2 判・チラシ A4 判・パンフレット A3 判二つ折り

**関連記事** 「地域密着の美術館 郷土在住作家展の意義」『大分合同新聞』6 月 7 日

「郷土在住作家展 I 脇正人展から 上」『大分合同新聞』6 月 26 日

「郷土在住作家展 I 脇正人展から 下」『大分合同新聞』6 月 27 日

「脇正人展作家トーク」『大分合同新聞』7 月 2 日

「脇正人展 線画に刻む心象表現」『大分合同新聞』7 月 5 日

（担当／大神）

## 目 録

No.	作 品 名	制 作 年	寸 法 (cm)	素 材 ・ 技 法	所 蔵 ・ 出 品 歴 ・ 他
1	家	1958	80.3×116.7	油彩、キャンバス	第22回自由美術協会展
2	幕舎	1959	72.7×100.0	油彩、キャンバス	第23回自由美術協会展
3	人	1959	90.9×65.2	油彩、キャンバス	第23回自由美術協会展
4	作品O	1966	116.7×90.9	油彩、キャンバス	第30回自由美術協会展
5	作品A	1969	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第33回自由美術協会展
6	作品B	1969	90.9×116.7	油彩、キャンバス	第33回自由美術協会展
7	作品A	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
8	作品B	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
9	作品C	1970	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第34回自由美術協会展
10	ひと	1971-1972	80.3×60.3	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
11	人 (I)	1971-1972	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
12	人 (II)	1971-1972	112.1×145.5	油彩、キャンバス	第4回7人の会展
13	作品	1972	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'72 自由美術協会展
14	作品'82-Ⅲ	1982	116.7×90.9	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
15	作品Ⅱ	1982	116.7×90.9	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
16	作品 (B)	1982	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'82 自由美術協会展
17	片々A	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
18	片々B	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
19	片々C	1983	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'83 自由美術協会展
20	コンポジション (A)	1986	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'86 自由美術協会展
21	コンポジション (B)	1986	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'86 自由美術協会展
22	コンポジション (A)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
23	コンポジション (B)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
24	コンポジション (C)	1987	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'87 自由美術協会展
25	象	1988	145.5×145.5	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
26	作品'88-2	1988	130.3×97.0	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
27	作品'88-3	1988	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'88 自由美術協会展
28	'89 作品 (5)	1989	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'89 自由美術協会展 自由美術賞
29	'89 作品 (6)	1989	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'89 自由美術協会展 自由美術賞 大分市美術館蔵
30	'90 黒い物 (A)	1990	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
31	'90 黒い物 (B)	1990	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
32	'90 黒い物 (A)	1990	116.7×116.7	油彩、キャンバス	'90 自由美術協会展
33	ケチャ (バリ島) スケッチ	1990	25.8×20.8	紙、鉛筆	

34	ケチャ（バリ島） スケッチ	1990	25.8×20.8	紙、鉛筆	
35	作品A	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
36	作品B	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
37	作品C	1993	90.9×116.7	油彩、キャンバス	'93 自由美術協会展
38	風景・II	1995	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'95 自由美術協会展
39	風景	1995	130.5×130.5	油彩、キャンバス	第10回新潮流展 大分県立 芸術会館蔵
40	1996A	1996	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'96 自由美術協会展
41	1996B	1996	145.5×112.1	油彩、キャンバス	'96 自由美術協会展
42	'97 風景	1997	145.7×145.8	油彩、キャンバス	'97 自由美術協会展 大分 県立芸術会館蔵
43	光景	1998	130.3×130.3	油彩、キャンバス	'98 自由美術協会展
44	'99 風景3	1999	130.5×130.5	油彩、キャンバス	第35回県美展 大分県立芸 術会館蔵
45	風景A	2000	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第64回自由美術協会展
46	風景	2000	50.0×65.2	油彩、キャンバス	
47	2001A	2001	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第65回自由美術協会展
48	風景・A	2002	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第66回自由美術協会展
49	風景・B	2002	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第66回自由美術協会展
50	風景2003・A	2003	130.3×130.3	油彩、キャンバス	第67回自由美術協会展
51	風景2003・B	2003	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第67回自由美術協会展
52	2005・風景A	2005	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第69回自由美術協会展
53	風景B	2006	145.5×145.5	油彩、キャンバス	第70回自由美術協会展
54	2007年	2007	145.5×145.5	油彩、キャンバス	
55	風景1	2007	53.0×65.2	油彩、キャンバス	2007年個展
56	風景	2007	45.5×27.3	油彩、キャンバス	2007年個展
57	風景（黄）	2007	50.0×60.6	油彩、キャンバス	2007年個展

### 3.1.4. ヴェネツィア絵画のきらめき ー栄光のルネサンスから華麗なる18世紀へー

概 要	ジョルジョーネ、ティツィアーノ、ティントレット、ヴェロネーゼが活躍したルネサンス期からカナレット、ティエポロ、ロンギなどが活躍した18世紀までのヴェネツィア絵画の黄金期の全貌を、クエリーニ・スタンパリア美術館（ヴェネツィア）、ドーリア・パンフィーリ美術館（ローマ）、アカデミア・ディ・サン・ルカ美術館（ローマ）などの美術館所蔵品等により、神話や宗教画、寓意画、祝祭に彩られた都市景観画、風俗画など71点の油彩画、パステル画等により紹介した。
会 期	平成19年7月14日（土）～8月27日（月） 公開日数44日
主 催	大分市美術館、大分合同新聞社
後 援	NHK大分放送局、OBS大分放送、TOSテレビ大分、OAB大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
出品点数	71点
観覧者数	19,463人
観覧料	一般1,000(800)円/高大生700(500)円、中学生以下無料 ※（ ）内は20名以上の団体。
展示解説	■美術館職員による展示解説（要観覧料） 日 時 会期中毎週水曜日 午後2時～ 場 所 企画展示室 参加者 247名
関連記事	「ヴェネツィア絵画のきらめき展開幕黄金期の70点」 『大分合同新聞』7月14日（抜粋） 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（1）」 夕刊『大分合同新聞』7月31日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（2）」 夕刊『大分合同新聞』8月1日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（3）」 夕刊『大分合同新聞』8月2日 「ヴェネツィア絵画のきらめき展から（4）」 夕刊『大分合同新聞』8月3日 貞包博幸「見どころは色の扱い」 夕刊『大分合同新聞』8月9日 「輝く色彩と叙情」 夕刊『大分合同新聞』8月21日

（担当 岩尾）

## 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	ジョヴァンニ・ベッリーニと工房 (ニコロ・ロンディネッリ?)	聖母子と洗礼者聖ヨハネ	1500 頃	75. 5×60. 6	油彩、板
2	チーマ・ダ・コネリアーノ	風景の中の聖母子	1505-07 頃	28. 7×21. 5	油彩、板
3	ヴィンツェンツォ・カテーナ	書斎の聖ヒエロニムス	1515-20 頃	73. 0×101. 0	油彩、キャンバス
4	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	洗礼者聖ヨハネの首をもつサロメ	1515 頃	89. 5×73. 0	油彩、キャンバス
5	パルマ・イル・ヴェッキオ	未完の風景の中のウェヌス	1528	112. 0×165. 0	油彩、キャンバス
6	ドメニコ・カンパニョーラ	トビアスと天使	1530 頃	99. 5×50. 5	油彩、板
7	ポリドーロ・ダ・ランチャーノ	聖会話	1540 頃	114. 0×167. 0	油彩、キャンバス
8	ランベルト・スストリス	洗礼者聖ヨハネの説教	1554	38. 0×60. 0	テンペラ、羊皮紙
9	ヤコポ・バッサーノ	マギの礼拝	1562-64	74. 5×102. 0	油彩、キャンバス
10	ヤコポ・ティントレット	愛の始まりの寓意	1562	174. 0×232. 0	油彩、キャンバス
11	ヤコポ・ティントレット	奏楽天使	1584	143. 0×108. 0	油彩、キャンバス
12	パオロ・ヴェロネーゼ	キリストと刑吏たち (エック・ホモ)	1586-88	72. 5×85. 0	油彩、キャンバス
13	パドヴァニーノ	キリストの神殿奉獻	制作年不詳	125. 0×210	油彩、キャンバス
14	ドメニコ・フェッティ	メランコリア	1618 頃	180. 0×116	油彩、キャンバス
15	ルカ・ジョルダーノ	ギリシアの哲学者	1650 頃	106. 0×89. 0	油彩、キャンバス
16	ヨーゼフ・ハインツ	アイソンを若返らせるメディアア	1650-60 頃	50. 0×89. 0	油彩、キャンバス
17	アントニオ・ザンキ	善きサマリア人	1670 頃	139. 0×189. 0	油彩、キャンバス
18	フランチェスコ・モンティ	寓意のモニュメント (ウィリアム・クーパーに捧げる)	1725	82. 0×53. 0	油彩、キャンバス
19	ジャンバッティスタ・ピットーニ	寓意のモニュメント (アイザック・ニュートンに捧げる)	1725	82. 0×53	油彩、キャンバス
20	ジョヴァンニ・アントニオ・ペッレグリーニ	中風病みを治すキリスト	1730	91. 0×54. 5	油彩、キャンバス
21	ジャンバッティスタ・ピットーニ	聖母子と聖ヨセフを礼拝する聖女テレサ、聖ペテロ、聖女ウルスラ、司教	制作年不詳	153. 0×83	油彩、キャンバス
22	ジャンバッティスタ・ティエポロ	幼子キリストと聖ヨセフ	1714 頃	53. 0×45. 0	油彩、キャンバス
23	ジャンバッティスタ・ティエポロ	ゴリアテの首をもつダヴィデ	1720 頃	91. 5×71. 0	油彩、キャンバス
24	ジャンバッティスタ・ティエポロ	聖母子と聖フィリッポ・ネーリ	1728	25. 5×20. 0	油彩、銅板
25	ジャンバッティスタ・ティエポロ	カプチン修道会士の死	1755-57	56. 0×42. 0	油彩、キャンバス

26	ジャンバッティスタ・ティエポロとアントニオ・ベルッチ	ダヴィデの歌	1709-51年	128.0×94.0	油彩、キャンバス
27	ジャンベッティーノ・チンヤローリ	聖母子	1735頃	83.0×66.0	油彩、キャンバス
28	ロザルバ・カッリエーラ	弦楽器をもつ少年	1740頃	45.0×36.0	パステル、紙
29	ロザルバ・カッリエーラ	タンバリンをもつ少女	1740頃	45.0×36.0	パステル、紙
30	フランチェスコ・ズッカレッリ	アルカディア風景	1760頃	70.0×104.0	油彩、キャンバス
31	フランチェスコ・グアルディ	パリスの審判	1760	41.0×55.0	油彩、キャンバス
32	ニコロ・カッサーナ	統領シルヴェストロ・ヴァリエールの肖像	1694	79.0×65.5	油彩、キャンバス
33	ニコロ・カッサーナ工房	統領夫人エリザベッタ・クエリニニヴァリエールの肖像	1694	80.0×65.5	油彩、キャンバス
34	ピエトロ・リーペリ	統領フランチェスコ・コルナーロの肖像	1656	271.0×182.0	油彩、キャンバス
35	セバスティアーノ・リッチ	統領ジョヴァンニ・コルナーロ1世の肖像	1715	271.0×182.0	油彩、キャンバス
36	ジャンバッティスタ・ティエポロ	統領マルコ・コルナーロの肖像	1715	271.0×181.0	油彩、キャンバス
37	グレゴリオ・ラッザリーニ	功績の寓意	1694	137.5×119.5	油彩、キャンバス
38	フランチェスコ・グアルディ	ブチントーロの出航、サン・ニコロ・デル・リド	1750頃	23.0×36.0	油彩、キャンバス
39	ヴェネトの画家（ジョルジョーネ帰属）	男の肖像	1500-02	26.5×21.4	油彩、板
40	マルコ・バザイーティ	男の肖像	1515-20	55.5×45.0	油彩、キャンバス
41	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	ズアン・パオロ・ダ・ポンテの肖像	1534	91.0×75.5	油彩、キャンバス
42	ティツィアーノ・ヴェチェリオ	ジャンバッティスタ・ラムージオの肖像	1540	25.0×22.0	油彩、板
43	ティツィアーノ・ヴェチェリオ（帰属）	混血の少年の肖像	1560-70頃	51.5×41.0	油彩、キャンバス
44	ロレンツォ・ロット	犬を連れた男の肖像	1545頃	87.5×73.5	油彩、キャンバス
45	ヤコポ・ティントレット	若い男の肖像	1553-60頃	105.0×92.0	油彩、キャンバス
46	ヤコポ・ティントレット	元老院議員の肖像	1572頃	115.0×98.0	油彩、キャンバス
47	ジョヴァンニ・アントニオ・ファゾーロ	若い貴婦人の肖像	1570頃	20.0×16.2	油彩、板
48	ピエトロ・ヴェッキア	争い	1650頃	58.0×75.0	油彩、キャンバス
49	ジローラモ・フォラボスコ	真珠の首飾りをつけた若い女性の肖像、赤い髪飾りをつけた若い女性の肖像	1650頃	17.2×13.4	油彩、銅板
50	ジローラモ・フォラボスコ	コルティジャーナ	1650頃	30.5×24.0	油彩、銅板
51	ロザルバ・カッリエーラ	ジャンバッティスタ・ティエポロの肖像	1726頃	76.0×62.5	油彩、キャンバス
52	カナレット	パリアア橋からの眺め、埠頭とパラッツォ・ドゥカーレ	1725	65.0×86.0	油彩、キャンバス

53	カナレット	プンタ・デッラ・ドガーナからの眺め、サン・ジョルジョ・マッジョーレ島	1728 頃	61.0×97.0	油彩、キャンバス
54	ベルナルド・ベロツト	サン・マルコ広場	1747 以前	69.0×115.0	油彩、キャンバス
55	ベルナルド・ベロツト	サン・マルコ広場とブチントーロ	1747 頃	74.0×114.0	油彩、キャンバス
56	フランチェスコ・グアルディ	嵐の海	1765-70 頃	52.0×85.0	油彩、キャンバス
57	ピエトロ・ロンギ	糸巻きをする女	1750 頃	61.5×50.5	油彩、キャンバス
58	ピエトロ・ロンギ	ラ・フルラーナ	1750-55 頃	61.0×49.5	油彩、キャンバス
59	ピエトロ・ロンギ	リドット（賭博場）	1757-60?	62.0×51.0	油彩、キャンバス
60	ピエトロ・ロンギ	ライオンの見世物小屋	1762	62.0×51.5	油彩、キャンバス
61	ガブリエル・ベッラ	十人委員会の間	1779 以 降 -1792 以 前	94.0×147.0	油彩、キャンバス
62	ガブリエル・ベッラ	トーガの着衣式、ブローリオ	1779 以 降 -1792 以 前	94.5×122.0	油彩、キャンバス
63	ガブリエル・ベッラ	聖金曜日の行列	1779 以 降 -1792 以 前	94.2×145.5	油彩、キャンバス
64	ガブリエル・ベッラ	教区司祭の入場、サンタ・マルゲリータ広場	1779 以 降 -1792 以 前	94.5×120.5	油彩、キャンバス
65	ガブリエル・ベッラ	サンタ・マリア・デラ・サルデーニャ聖堂での婚礼	1779 以 降 -1792 以 前	94.0×145.0	油彩、キャンバス
66	ガブリエル・ベッラ	サンタルヴィーゼ広場でのサッカー	1779 以 降 -1792 以 前	97.5×131.5	油彩、キャンバス
67	ガブリエル・ベッラ	テニス	1779 以 降 -1792 以 前	96.0×146.0	油彩、キャンバス
68	ガブリエル・ベッラ	サン・ピエトロ・ディ・カステッロでの水上パレード	1779? 以 降 -1792 以 前	95.0×149.0	油彩、キャンバス
69	ガブリエル・ベッラ	レデントーレの夜	1779 以 降 -1792 以 前	95.0×121.5	油彩、キャンバス
70	ガブリエル・ベッラ	四旬節前の木曜日の祭、ピアッツェッタ	1779 以 降 -1792 以 前	96.5×146.8	油彩、キャンバス
71	ジュゼッペ・ベルナルディーノ・ビゾン	パラッツォ・ドゥカーレに入るフランス大使ジェルジ伯、1726年11月4日	1800 頃	181.0×258.0	油彩、キャンバス

### 3. 1. 5. 竹久夢二・高畠華宵と大正ロマン・昭和モダンの画家たち展

概 要	<p>竹久夢二は、岡山県に生まれ、明治から大正への新旧渾然とした風俗を背景に、郷愁と憧憬を感じさせる女性像で、絶大な人気を誇った。</p> <p>高畠華宵は、京都市立美術工芸学校日本画科で学び、大正・昭和の憧れの生活スタイルを、モダンな衣装に身を包んだ女性像であらわし、熱狂的な支持を受け、大正後半から昭和にかけて、ひとつの時代を築いた。</p> <p>本展では、大正・昭和の大衆に幅広く受け入れられた竹久夢二、高畠華宵、落谷虹児、岩田専太郎、中原淳一など、大正ロマン・昭和モダンを代表する作家たちの日本画、版画、絵葉書、楽譜、装丁本などを幅広く紹介し、近代日本絵画展開の過渡期に、大きく花開いた大正ロマン・昭和モダンの世界を振り返った。</p>
会 期	平成 19 年 9 月 7 日（金）～10 月 28 日（日）
主 催	大分市美術館
後 援	大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分
出品点数	日本画・版画・絵葉書・楽譜・装丁本など 218 点
観覧者数	9,008 人
観覧料	一般 800(600)円/高大生 600(400)円 中学生以下無料 ※（ ）内は 20 名以上の団体。
展示解説	■美術館職員による展示解説（要観覧料） 日 時 会期中毎週水曜日 午後 2 時～ 場 所 企画展示室 参加者 125 名
印刷物	・ポスターB2版、チラシA4版
関連記事	「郷愁漂う大正・昭和のアートたち」『西日本新聞』朝刊 8月25日 「美人画が中心に力作ズラリ」「大正・昭和を彩る 218 点」『大分合同新聞』夕刊 9月7日 「美人画展を訪ねて」『大分合同新聞』朝刊 9月18日 「挿絵・絵はがき 夢二らの世界」『朝日新聞』朝刊 9月19日 「38 作家の 218 点作品紹介」『大分合同新聞』夕刊 9月27日 「世相をとらえた 38 作家 218 点」『大分合同新聞』夕刊 10月11日

(担当 嶋田・大神)

## 目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法
1	竹久夢二	ワイングラス	制作年不詳	35.3×117.2	紙本淡彩
2	竹久夢二	松原の女	制作年不詳	31.0×135.0	紙本淡彩
3	竹久夢二	夏の宵	制作年不詳	138.0×34.0	紙本淡彩
4	竹久夢二	星まつり	制作年不詳	32.2×114.6	紙本着色
5	竹久夢二	さみだれや	制作年不詳	約150×150	紙本淡彩
6	竹久夢二	『婦人グラフ』 「APL FOOL」	1926	32.5×24.5	木版画
7	竹久夢二	『婦人グラフ』 「花火」	1924	32.5×24.5	木版画
8	竹久夢二	『婦人グラフ』 「1926年春」	1926	32.5×24.5	木版画
9	竹久夢二	『婦人グラフ』 「如月の傳説」	1926	32.5×24.5	木版画
10	竹久夢二	港屋絵草紙店	1924	32.0×25.0	木版画
11	竹久夢二	小春	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
12	竹久夢二	治兵衛	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
13	竹久夢二	黒猫を抱く女	制作年不詳	75.0×56.5	木版画
14	竹久夢二	秋のしらべ	1924	44.0×36.5	木版画
15	竹久夢二	寝椅子	1924	44.0×36.5	木版画
16	竹久夢二	麻利耶観音	1924	44.0×36.5	木版画
17	竹久夢二	秋	1924	44.0×36.5	木版画
18	竹久夢二	童話	1924	44.0×36.5	木版画
19	竹久夢二	雪の夜の伝説	1926	44.0×36.5	木版画
20	竹久夢二	化粧の秋	1924	44.0×36.5	木版画
21	竹久夢二	星合	1924	44.0×36.5	木版画
22	竹久夢二	勇敢な恋人	1924	44.0×36.5	木版画
23	竹久夢二	春けき国へ	制作年不詳	108.0×41.0	絹本淡彩
24	竹久夢二	夏の女	制作年不詳	31.0×135.3	紙本淡彩
25	竹久夢二	雛まつり	制作年不詳	115.0×33.0	絹本淡彩
26	竹久夢二	五千石辞しても涼しき紙子かな	制作年不詳	28.0×45.0	紙本淡彩
27	竹久夢二	春の山	制作年不詳	44.7×21.5	紙本淡彩
28	竹久夢二	自画像	1926頃	123.5×27.5	紙本淡彩
29	竹久夢二	春の灯や 雛の衣 つくけり	制作年不詳	115.0×28.5	紙本淡彩
30	竹久夢二	舞妓	制作年不詳	23.5×26.5	紙本淡彩
31	竹久夢二	『朝顔』 挿絵原画	制作年不詳	48.5×39.5	インク・鉛筆・墨・紙
32	竹久夢二	「関東大震災」スケッチ	1923	38.0×45.5	インク・鉛筆、紙
33	竹久夢二	「関東大震災」スケッチ	1923	38.0×45.5	インク・鉛筆、紙
34	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	16.0×25.6	鉛筆、紙
35	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	17.0×11.6	鉛筆、紙
36	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	17.0×12.0	鉛筆、紙
37	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	16.8×11.7	鉛筆、紙
38	竹久夢二	デッサン (ノートブックより)	1918頃	25.2×16.2	鉛筆、紙

39	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.0×11.5	鉛筆、紙
40	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.2×24.5	鉛筆、紙
41	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	12.3×17.3	鉛筆、紙
42	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	17.5×24.5	鉛筆、紙
43	竹久夢二	デッサン（ノートブックより）	1918頃	24.8×16.0	鉛筆、紙
44	竹久夢二	著作本 『童謡の本・凧』	1926	21.0×16.0	書籍
45	竹久夢二	著作本 『露台薄暮』	制作年不詳	19.5×14.0	書籍
46	竹久夢二	装帳本 吉井勇著『祇園双紙』	1917	16.0×11.5	書籍
47	竹久夢二	著作本 『三味線草』	制作年不詳	17.0×11.5	書籍
48	竹久夢二	著作本 『恋愛秘語』	制作年不詳	19.5×13.5	書籍
49	竹久夢二	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	オフセット版
50	竹久夢二	装帳本 『若草』	1926	22.0×15.0	書籍
51	竹久夢二	装帳本 『若草』	1929	22.0×15.0	書籍
52	竹久夢二	装帳本 『若草』	1929	22.0×15.0	書籍
53	竹久夢二	装帳本 『若草』	1930	22.0×15.0	書籍
54	竹久夢二	装帳本 『若草』	1930	22.0×15.0	書籍
55	竹久夢二・ 岩田専太郎 他	少女十二カ月双六	1928	78.0×55.0	カラー印刷
56	竹久夢二	セノオ楽譜 『暮れて行く』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
57	竹久夢二	セノオ楽譜 『ボガボガ・ベラル』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
58	竹久夢二	セノオ楽譜 『サラオー・頌歌』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
59	竹久夢二	セノオ楽譜 『可愛や胡蝶』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
60	竹久夢二	セノオ楽譜 『陽気な鍛冶屋』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
61	竹久夢二	セノオ楽譜 『我家の唄』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
62	竹久夢二	セノオ楽譜 『桜町』	1916～昭和初期	30.0×22.8	オフセット版
63	竹久夢二	セノオ楽譜 『鐘』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
64	竹久夢二	セノオ楽譜 『我を偲び給へ』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
65	竹久夢二	セノオ楽譜 『さらば我世の幸福よ』	1916～昭和初期	30.8×22.8	オフセット版
66	高島華宵	南国の唄	制作年不詳	23.0×17.0	水彩、紙
67	高島華宵	正月の羽根	制作年不詳	23.0×35.0	紙本着色
68	高島華宵	花吹雪舞妓	制作年不詳	23.0×35.0	紙本淡彩
69	高島華宵	ほたる籠	制作年不詳	23.0×35.0	紙本着色
70	高島華宵	カナリアと娘	制作年不詳	22.0×11.5	水彩、紙
71	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各12.0×12.0	インク、紙

72	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
73	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
74	高島華宵	娘二十まで	制作年不詳	各 12.0×12.0	インク、紙
75	高島華宵	妻は何処に	制作年不詳	11.0×11.0・11.0×22.0	インク、紙
76	高島華宵	白拍子	制作年不詳	134.4×32.6	紙本淡彩
77	高島華宵	合鏡・化粧図	制作年不詳	39.6×51.6	絹本着色
78	高島華宵	あじさい娘	制作年不詳	123.8×40.6	絹本着色
79	高島華宵	梅花舞妓図	制作年不詳	94.4×27.5	絹本着色
80	高島華宵	祇園夜桜	制作年不詳	101.4×40.4	絹本着色
81	高島華宵	八幡太郎義家	制作年不詳	120.8×34.2	絹本着色
82	作者不詳	中原淳一風 少女図 口紅	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
83	作者不詳	中原淳一風 少女図 たそがれ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
84	作者不詳	中原淳一風 少女図 夕涼み	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
85	作者不詳	中原淳一風 少女図 かがみ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
86	作者不詳	中原淳一風 少女図 ねがひ	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
87	作者不詳	中原淳一風 少女図 こたつ	制作年不詳	11.8×18.4	木版画
88	作者不詳	中原淳一風 少女図 三味線	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
89	作者不詳	中原淳一風 少女図 花かんざし	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
90	作者不詳	中原淳一風 少女図 花ふぶき	制作年不詳	14.0×9.0	木版画
91	蒔谷虹児	少女	制作年不詳	40.0×31.0	紙本着色
92	蒔谷虹児	女人伴天運第二話 おん主の嘆き 『婦人グラフ』	1924	13.4×17.8	木版画
93	蒔谷虹児	山上 『婦人グラフ』	1924	16.8×9.4	木版画
94	蒔谷虹児	『お留守居』 表紙絵	制作年不詳	21.6×15.0	水彩、紙
95	蒔谷虹児	『童幼の国』 表紙絵	制作年不詳	33.0×23.4	水彩、紙
96	蒔谷虹児	姉妹仲よし双六	1921	78.0×55.0	カラー印刷
97	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』花かんざし	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
98	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』雪	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
99	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』赤提灯	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
100	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』読書	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
101	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』のれん	制作年不詳	23.0×16.0	木版画
102	大倉 九節	高橋掬太郎著『花かんざし』装丁本	1918	25.0×19.0	雑誌
103	宇崎 純一	絵はがき	制作年不詳	14.0×9.0	カラー印刷
104	太宰 敦夫	絵はがき (内袋2)	制作年不詳	14.0×9.0	折本
105	作者不詳	『コドモアサヒ』	制作年不詳	26.0×19.0	雑誌
106	素 郷	元禄美人図	制作年不詳	45.0×15.6	羽子板に絹、彩色
107	岡本 一平	創作中の漱石先生	制作年不詳	22.6×35.0	扇子
108	鐔木 清方	茶屋娘	制作年不詳	99.9×26.4	絹本着色
109	鐔木 清方	唐人お吉	制作年不詳	63.0×73.0	紙本着色
110	伊東 深水	蚊張美人画 (双幅)	制作年不詳	各 112.4×26.8	絹本着色

111	北野 恒富	火鉢の前	制作年不詳	116.4×37.0	絹本着色
112	鳥居 言人	紅化粧	制作年不詳	102.0×32.2	絹本着色
113	池田 輝方	汐干狩二美人図	制作年不詳	126.0×41.2	絹本着色
114	池田 蕉園	七夕	制作年不詳	113.0×41.0	絹本着色
115	伊藤小坡	船あそび	制作年不詳	129.0×42.4	絹本着色
116	島 成園	化粧	制作年不詳	127.4×23.8	絹本着色
117	島 成園	夏の女	制作年不詳	104.2×35.8	絹本着色
118	橘 小夢	娘	制作年不詳	115.6×41.0	絹本着色
119	岩田 専太郎	吹雪の女	制作年不詳	36.0×43.8	水彩、紙
120	岩田 専太郎	近代美人	制作年不詳	26.2×18.8	水彩、紙
121	岩田 専太郎	『講談の泉』 表紙絵	制作年不詳	21.4×21.0	水彩、紙
122	岩田 専太郎	小島政二郎著 『甘肌』	制作年不詳	37.2×42.2	水彩、紙
123	岩田 専太郎	小島政二郎著 『甘肌』 ポスター	制作年不詳	30.5×48.0	カラー印刷
124	岩田 専太郎	大佛次郎著 『天狗廻状』	1932	21.8×30.8	墨・水彩、紙
125	岩田 専太郎	雑誌 『苦楽』 挿絵原画	制作年不詳	23.4×15.0 他	インク、紙
126	中原 淳一	サイン色紙	制作年不詳	23.0×25.8	インク、紙
127	中原 淳一	サイン色紙	1956	23.0×25.8	インク、紙
128	中原 淳一	挿絵原画 腕を組む男	制作年不詳	28.6×17.6	インク・色鉛筆、紙
129	中原 淳一	挿絵原画 親子	制作年不詳	28.6×17.6	インク、紙
130	高島華宵	七転八起開運出世双六	1924	55.0×79.0	カラー印刷
131	高島華宵	絵はがき 『夕空』 『武運の祈りて』	制作年不詳	14.0×9.3	カラー印刷
132	落谷虹児	『令女界』	制作年不詳	22.5×15.0	雑誌
133	落谷虹児	『令女界』	制作年不詳	22.5×15.0	雑誌
134	須藤 しげる	少女数へ歌 双六	1929	20.2×31.3	双六
135	中原 淳一	ランドゲーム	1940	カード各 9.0×3.0	カラー印刷
136	岩田 専太郎	昭和美人図	制作年不詳	42.2×14.2	羽子板
137	岩田 専太郎	岩田専太郎装丁本・大佛次郎著『赤穂浪士』	1929	各 19.0×13.2	書籍
138	岩田 専太郎	絵はがき (慰問袋)	制作年不詳	14.0×9.0	カラー印刷
139	中原 淳一	『少女の友』	1939	22.0×15.0	雑誌
140	小早川 清	唐人お吉	制作年不詳	43.6×51.8	絹本着色
141	小早川 清	ささやき	制作年不詳	130.4×42.3	絹本着色
142	伊藤 晴雨	浴後の涼み	制作年不詳	122.0×40.6	絹本淡彩
143	木谷千種	湯あがり	制作年不詳	40.0×46.4	絹本着色
144	伊藤 幾久造	八幡太郎義家	制作年不詳	131.0×50.4	絹本着色
145	作者不詳	馬上の源義経	制作年不詳	98.0×82.0	幼児着物
146	中原 淳一	娘十二ヶ月 一月 (鹿子帯)	1939 頃	20.5×15.6	木版画
147	中原 淳一	娘十二ヶ月 二月 (如月の雪)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
148	中原 淳一	娘十二ヶ月 三月 (紅屋)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
149	中原 淳一	娘十二ヶ月 四月 (三味線)	制作年不詳	20.5×15.6	木版画

150	中原 淳一	娘十二ヶ月 五月（願ひ）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
151	中原 淳一	娘十二ヶ月 六月（蛩）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
152	中原 淳一	娘十二ヶ月 七月（七夕）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
153	中原 淳一	娘十二ヶ月 九月（雨）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
154	中原 淳一	娘十二ヶ月 十月（浮世絵やの娘）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
155	中原 淳一	娘十二ヶ月 十一月（鏡）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
156	中原 淳一	娘十二ヶ月 十二月（雪）	制作年不詳	20.5×15.6	木版画
157	橘 小夢	唐人お吉	1933	32.0×21.0	木版画
158	橘 小夢	お蝶夫人	1934	32.3×21.0	木版画
159	橘 小夢	刺青	1937	30.0×18.0	オフセット版
160	橘 小夢	水魔	1932	32.0×21.0	オフセット版
161	橘 小夢	タカラジェンヌ	制作年不詳	24.0×18.0	木版画
162	橘 小夢	タカラジェンヌ	制作年不詳	23.5×18.0	木版画
163	松本 かつぢ	みずうみのほとり	制作年不詳	27.2×22.6	水彩、紙
164	松本 かつぢ	ばらの少女	制作年不詳	19.2×14.2	水彩、紙
165	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	19.4×32.2	インク、紙
166	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	23.8×31.2	インク、紙
167	松本 かつぢ	アリゾナの緋薔薇	1951	25.2×32.2	インク、紙
168	川西 英	サロメ	制作年不詳	116.6×30.6	布に金彩
169	川西 英	楽器を持つ女	制作年不詳	122.6×30.4	水彩、紙
170	川西 英	美人画	制作年不詳	24.0×23.0	団扇彩色
171	川西 英	美人画	制作年不詳	24.5×27.0	団扇彩色
172	川西 英	美人画	制作年不詳	22.0×28.0	団扇彩色
173	川西 英	美人画	制作年不詳	17.0×23.0	団扇彩色
174	川西 英	短冊四図	制作年不詳	各 35.7×6.0	水彩、紙
175	中原 淳一	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	カラー印刷
176	中原 淳一	『野薔薇』 楽譜	1938	25.5×21.5	カラー印刷
177	蒔谷虹児	絵はがき	制作年不詳	14.8×10.0	カラー印刷
178	蒔谷虹児	レコードジャケット	制作年不詳	31.5×34.5	カラー印刷
179	伊東 深水	昭和美人風俗	1931	34.8×23.0	オフセット版
180	伊東 深水	新美人十二姿 おしろい	1923	38.6×23.6	木版画
181	小早川 清	水谷八重子像（大羽子板）	制作年不詳	75.6×32.0	絹本着色
182	小早川 清	唐人お吉	制作年不詳	30.8×41.2	木版画
183	小早川 清	近世時世ノ粧内 口紅	1931	48.2×27.3	木版画
184	山村 耕花	犬を連れた洋装婦人	制作年不詳	147.5×30.0	水彩、紙
185	山村 耕花	踊り	1924	39.0×25.4	木版画
186	山村 耕花	『京洛異変』 挿絵原画	制作年不詳	19.2×30.2	墨・鉛筆、紙
187	小村 雪岱	お伝地獄	1933	27.2×52.0	木版画
188	小村 雪岱	『両国』 挿絵原画	制作年不詳	17.2×12.4 他	鉛筆・コンテ、紙

189	鎬木 清方	おさん『近松全集挿絵版画集』	1923	32.4×23.4	木版画
190	鎬木 清方	モダン美女	制作年不詳	29.6×19.8	オフセット
191	志村 立美	『酉の市、女』 挿絵原画	制作年不詳	26.8×18.8	紙・水彩
192	志村 立美	『恋慕奉行』 挿絵原画	制作年不詳	15.8×19.8	ペン・墨、紙
193	志村 立美	『二つの瞳』（美空ひばり）	制作年不詳	34.8×34.8	リトグラフ
194	北野 恒富	鷺娘	1925	45.0×29.8	木版画
195	鳥居 言人	朝寝髪	1930頃	38.4×23.8	木版画
196	伊藤 幾久造	巴御前	制作年不詳	52.8×40.0	絹本着色
197	伊藤 幾久造	辰巳の女	制作年不詳	26.5×24.0	紙本着色
198	伊藤 幾久造	舞妓	制作年不詳	26.5×24.0	紙本着色
199	ひろし	『花嫁人形』 楽譜	1928	26.4×18.4	楽譜
200	ひろし	『忘れな草』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
201	ひろし	『アラビアの唄』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
202	ひろし	『ハレルヤ』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
203	ひろし	『君知るや南の国』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
204	ひろし	『AさんとBさん』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
205	ひろし	『歓楽の夜曲』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
206	ひろし	『紅屋の娘』 楽譜	1929	26.4×18.4	楽譜
207	小村 雪岱	『お傳地獄』	1936	19.8×14.6	書籍
208	小村 雪岱	『浮名三味線 色娘おせん』	1936	19.8×14.0	書籍
209	加藤 まさを	『中山晋平曲』 童謡小曲 第7集	制作年不詳	23.8×17.2	楽譜
210	加藤 まさを	『中山晋平曲』 童謡小曲 第11集	制作年不詳	23.8×17.2	楽譜
211	加藤 まさを	絵はがき（内袋1）	制作年不詳	14.4×9.5	5枚
212	高橋 弘明	ヌード	1928	50.2×34.8	木版画
213	橋口 五葉	化粧	1918	50.2×34.8	木版画
214	戸張 孤雁	温泉宿	1919頃	45.2×31.8	木版画
215	山本 鼎	漁夫 『明星』	1904	16.2×11.0	木版画
216	恩地 孝四郎	ヌード	制作年不詳	23.0×37.2	木版画
217	石川 寅治	踊り	制作年不詳	37.2×28.8	木版画
218	東郷 青児	モダン娘	制作年不詳	33.8×38.0	木版画

### 3. 1. 6. 広重・北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 ＜歌麿・写楽から幕末バラエティーまで＞

**概要** 浮世絵は主に町人が楽しみ、憧れた絵で、庶民の風俗、役者や美人、日本各地の名所などが、色彩豊かに描き出された。とりわけ、江戸中期以降は、版画技法も発達し、後期に至って、浮世絵は最盛期を迎えた。

歌川広重、葛飾北斎に代表される「風景画」に加え、「美人画」、「役者絵」といった浮世絵三大テーマが確立、さらに幕末には、時代の急速な展開、揺れる世情を反映し、奇っ怪な「妖怪絵」、ユーモア溢れる「だまし絵」、欧米への関心を示す「横浜絵」等、様々な趣向の作品が次々に生み出された。

本展では、鳥居清長、喜多川歌麿に代表される「美人画」、東洲斎写楽、歌川豊国らの「役者絵」から、幕末期の歌川広重の名作「東海道五拾三次」、葛飾北斎の「風景画」、歌川国芳の「妖怪絵」等に至る、最盛期の名品 260 点により、活力と創意に溢れる浮世絵の多彩な世界を紹介した。

**会期** 平成 19 年 11 月 2 日(金)～12 月 16 日(日) 公開日数 41 日  
**主催** 大分市美術館、大分合同新聞社  
**後援** NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分  
**出品点数** 260 点(内、特別出品 33 点)  
**観覧者数** 9,233 人  
**観覧料** 一般 800 (600) 円/高大生 600 (400) 円、中学生以下無料  
※ ( ) 内は 20 名以上の団体料金

**関連行事** ■美術館職員による展示解説 (要観覧料)

**日時** 会期中毎週水曜日 午後 2 時～  
**場所** 企画展示室  
**参加者** 165 名

■映画上映会 (無料)

**日時** 11 月 11 日、17 日、12 月 1 日、8 日、9 日、15 日  
午後 1 時 30 分～  
**内容** (1) 浮世絵と歌川広重 (2) 浮世絵にみる町人のくらし  
**参加者** 298 人

**印刷物** ・ポスターB2 版・チラシ A4 版

**関連記事** 「鮮やか五十三次の旅「浮世絵名品展」始まる」『大分合同新聞』夕刊 11 月 2 日  
「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展」『大分合同新聞』夕刊 11 月 5 日

「多彩な浮世絵を紹介」『西日本新聞』11月7日

「広重と北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展 上・中・下」

『大分合同新聞』夕刊11月22日～24日

「19世紀の旅体験」『大分合同新聞』夕刊12月6日

「風景画、役者絵、美人画・・・ 多彩な260点」『大分合同新聞』12月3日

(担当 宮崎)

## 目録

No.	作者	作品名	形態
1. 広重と北斎の東海道五十三次			
1	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日本橋	錦絵大判
2	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 品川	錦絵大判
3	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 川崎	錦絵大判
4	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 神奈川	錦絵大判
5	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 保土ヶ谷	錦絵大判
6	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 戸塚	錦絵大判
7	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤澤	錦絵大判
8	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 平塚	錦絵大判
9	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 大磯	錦絵大判
10	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 小田原	錦絵大判
11	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 箱根	錦絵大判
12	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 三島	錦絵大判
13	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 沼津	錦絵大判
14	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 原	錦絵大判
15	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 吉原	錦絵大判
16	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 蒲原	錦絵大判
17	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 由井	錦絵大判
18	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 奥津	錦絵大判
19	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 江尻	錦絵大判
20	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 府中	錦絵大判
21	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 鞠子	錦絵大判
22	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 岡部	錦絵大判
23	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤枝	錦絵大判
24	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 嶋田	錦絵大判
25	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 金谷	錦絵大判
26	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日坂	錦絵大判
27	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 掛川	錦絵大判

28	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 袋井	錦絵大判
29	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 見附	錦絵大判
30	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 濱松	錦絵大判
31	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 舞坂	錦絵大判
32	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 荒井	錦絵大判
33	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 白須賀	錦絵大判
34	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 二川	錦絵大判
35	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 吉田	錦絵大判
36	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 御油	錦絵大判
37	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 赤阪	錦絵大判
38	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 藤川	錦絵大判
39	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 岡崎	錦絵大判
40	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 池鯉鮒	錦絵大判
41	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 鳴海	錦絵大判
42	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 宮	錦絵大判
43	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 桑名	錦絵大判
44	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 四日市	錦絵大判
45	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 石薬師	錦絵大判
46	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 庄野	錦絵大判
47	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 亀山	錦絵大判
48	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 関	錦絵大判
49	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 阪之下	錦絵大判
50	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 土山	錦絵大判
51	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 水口	錦絵大判
52	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 石部	錦絵大判
53	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 草津	錦絵大判
54	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 大津	錦絵大判
55	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 京師	錦絵大判
56	歌川広重	五十三次名所図会 日本橋	錦絵大判
57	歌川広重	五十三次名所図会 品川	錦絵大判
58	歌川広重	五十三次名所図会 川崎	錦絵大判
59	歌川広重	五十三次名所図会 神奈川	錦絵大判
60	歌川広重	五十三次名所図会 程ヶ谷	錦絵大判
61	歌川広重	五十三次名所図会 戸塚	錦絵大判
62	歌川広重	五十三次名所図会 藤澤	錦絵大判
63	歌川広重	五十三次名所図会 平塚	錦絵大判
64	歌川広重	五十三次名所図会 大磯	錦絵大判
65	歌川広重	五十三次名所図会 小田原	錦絵大判

66	歌川広重	五十三次名所図会 箱根	錦絵大判
67	歌川広重	五十三次名所図会 三島	錦絵大判
68	歌川広重	五十三次名所図会 沼津	錦絵大判
69	歌川広重	五十三次名所図会次 原	錦絵大判
70	歌川広重	五十三次名所図会 吉原	錦絵大判
71	歌川広重	五十三次名所図会 蒲原	錦絵大判
72	歌川広重	五十三次名所図会 由井	錦絵大判
73	歌川広重	五十三次名所図会 奥津	錦絵大判
74	歌川広重	五十三次名所図会 江尻	錦絵大判
75	歌川広重	五十三次名所図会 府中	錦絵大判
76	歌川広重	五十三次名所図会 鞠子	錦絵大判
77	歌川広重	五十三次名所図会 岡部	錦絵大判
78	歌川広重	五十三次名所図会 藤枝	錦絵大判
79	歌川広重	五十三次名所図会 島田	錦絵大判
80	歌川広重	五十三次名所図会 金谷	錦絵大判
81	歌川広重	五十三次名所図会 日坂	錦絵大判
82	歌川広重	五十三次名所図会 掛川	錦絵大判
83	歌川広重	五十三次名所図会 袋井	錦絵大判
84	歌川広重	五十三次名所図会 見附	錦絵大判
85	歌川広重	五十三次名所図会 濱松	錦絵大判
86	歌川広重	五十三次名所図会 舞坂	錦絵大判
87	歌川広重	五十三次名所図会 荒井	錦絵大判
88	歌川広重	五十三次名所図会 白須賀	錦絵大判
89	歌川広重	五十三次名所図会 二川	錦絵大判
90	歌川広重	五十三次名所図会 吉田	錦絵大判
91	歌川広重	五十三次名所図会 御油	錦絵大判
92	歌川広重	五十三次名所図会 赤坂	錦絵大判
93	歌川広重	五十三次名所図会 藤川	錦絵大判
94	歌川広重	五十三次名所図会 岡崎	錦絵大判
95	歌川広重	五十三次名所図会 池鯉鮒	錦絵大判
96	歌川広重	五十三次名所図会 鳴海	錦絵大判
97	歌川広重	五十三次名所図会 宮	錦絵大判
98	歌川広重	五十三次名所図会 桑名	錦絵大判
99	歌川広重	五十三次名所図会 四日市	錦絵大判
100	歌川広重	五十三次名所図会 石薬師	錦絵大判
101	歌川広重	五十三次名所図会 庄野	錦絵大判
102	歌川広重	五十三次名所図会 亀山	錦絵大判
103	歌川広重	五十三次名所図会 関	錦絵大判

104	歌川広重	五十三次名所図会 坂の下	錦絵大判
105	歌川広重	五十三次名所図会 土山	錦絵大判
106	歌川広重	五十三次名所図会 水口	錦絵大判
107	歌川広重	五十三次名所図会 石部	錦絵大判
108	歌川広重	五十三次名所図会 草津	錦絵大判
109	歌川広重	五十三次名所図会 大津	錦絵大判
110	歌川広重	五十三次名所図会 京	錦絵大判
111	柳川重信	東海道五十三次 日本橋	錦絵小判
112	葛飾北斎	東海道五十三次 品川	錦絵小判
113	葛飾北斎	東海道五十三次 川崎	錦絵小判
114	葛飾北斎	東海道五十三次 神奈川	錦絵小判
115	葛飾北斎	東海道五十三次 程ヶ谷	錦絵小判
116	葛飾北斎	東海道五十三次 戸塚	錦絵小判
117	葛飾北斎	東海道五十三次 藤澤	錦絵小判
118	葛飾北斎	東海道五十三次 平塚	錦絵小判
119	葛飾北斎	東海道五十三次 大磯	錦絵小判
120	葛飾北斎	東海道五十三次 小田原	錦絵小判
121	葛飾北斎	東海道五十三次 箱根	錦絵小判
122	葛飾北斎	東海道五十三次 三島	錦絵小判
123	葛飾北斎	東海道五十三次 沼津	錦絵小判
124	柳川重信	東海道五十三次 原	錦絵小判
125	葛飾北斎	東海道五十三次 吉原	錦絵小判
126	葛飾北斎	東海道五十三次 蒲原	錦絵小判
127	葛飾北斎	東海道五十三次 由井	錦絵小判
128	葛飾北斎	東海道五十三次 奥津	錦絵小判
129	葛飾北斎	東海道五十三次 江尻	錦絵小判
130	葛飾北斎	東海道五十三次 府中	錦絵小判
131	柳川重信	東海道五十三次 鞠子	錦絵小判
132	葛飾北斎	東海道五十三次 岡部	錦絵小判
133	柳川重信	東海道五十三次 藤枝	錦絵小判
134	葛飾北斎	東海道五十三次 島田	錦絵小判
135	葛飾北斎	東海道五十三次 金谷	錦絵小判
136	葛飾北斎	東海道五十三次 日坂	錦絵小判
137	葛飾北斎	東海道五十三次 掛川	錦絵小判
138	葛飾北斎	東海道五十三次 袋井	錦絵小判
139	葛飾北斎	東海道五十三次 見附	錦絵小判
140	葛飾北斎	東海道五十三次 濱松	錦絵小判
141	葛飾北斎	東海道五十三次 舞坂	錦絵小判

142	葛飾北斎	東海道五十三次 荒井	錦絵小判
143	葛飾北斎	東海道五十三次 白須賀	錦絵小判
144	葛飾北斎	東海道五十三次 二川	錦絵小判
145	葛飾北斎	東海道五十三次 吉田	錦絵小判
146	葛飾北斎	東海道五十三次 御油	錦絵小判
147	葛飾北斎	東海道五十三次 赤坂	錦絵小判
148	葛飾北斎	東海道五十三次 藤川	錦絵小判
149	葛飾北斎	東海道五十三次 岡崎	錦絵小判
150	葛飾北斎	東海道五十三次 池鯉鮒	錦絵小判
151	柳川重信	東海道五十三次 鳴海	錦絵小判
152	柳川重信	東海道五十三次 宮	錦絵小判
153	葛飾北斎	東海道五十三次 桑名	錦絵小判
154	葛飾北斎	東海道五十三次 四日市	錦絵小判
155	葛飾北斎	東海道五十三次 石薬師	錦絵小判
156	葛飾北斎	東海道五十三次 庄野	錦絵小判
157	葛飾北斎	東海道五十三次 亀山	錦絵小判
158	葛飾北斎	東海道五十三次 関	錦絵小判
159	葛飾北斎	東海道五十三次 坂ノ下	錦絵小判
160	葛飾北斎	東海道五十三次 土山	錦絵小判
161	葛飾北斎	東海道五十三次 水口	錦絵小判
162	葛飾北斎	東海道五十三次 石部	錦絵小判
163	葛飾北斎	東海道五十三次 草津	錦絵小判
164	葛飾北斎	東海道五十三次 大津	錦絵小判
165	柳川重信	東海道五十三次 京	錦絵小判
166		「東海道- 広重画五拾三次現状写真対照」東光園発行	書籍
167	歌川広重	東海道五拾三次 保永堂版 日本橋	(異版) 錦絵大判
168	歌川広重	〃 戸塚	(異版) 錦絵大判
169	歌川広重	〃 池鯉鮒	(普及版) 錦絵大判
170	歌川広重	〃 大津	(後摺り) 錦絵大判

旅模様・東海道中膝栗毛

171	歌川広重	道中膝栗毛 瀬戸川	錦絵大判
172	歌川広重	道中膝栗毛 参宮道白子	錦絵大判
173	歌川広重	膝栗毛道中雀 京都大仏殿	錦絵大判
174	歌川広重	東海道川尽 大井川の図	錦絵大判三枚続
175	三代豊国	東海道五十三次之内 江尻 弥次良兵衛	錦絵大判
176	三代豊国	〃 府中 喜多八	錦絵大判
177	二代広重	諸国名所図会 甲斐身延路鰻澤不二川	団扇絵
178	十返舎一九	東海道中膝栗毛	版本

## 2. 黄金期の浮世絵アラカルト

179	勝川春章	揚巻(あげまき)と助六	錦絵大判
180	勝川春好	三升(みます)市川団十郎の暫	錦絵細判
183	東洲斎写楽	四代目岩井半四郎の乳母 重の井	錦絵大判
184	歌川豊国	役者舞台之姿絵 きの国や	錦絵大判
185	歌川豊国	三浦荒男之助 市川団十郎	錦絵大判
186	歌川国貞	斧定九郎 松本幸四郎	錦絵大判
187	三代豊国	橋本屋抱白糸 坂東志うか	錦絵大判
181	勝川春英	谷風と瀧ノ音 小の川と楠	錦絵大判二枚続
182	勝川春英	雷電	錦絵大判
188	鳥居清長	隅田川料亭(大川楼上の月見)	錦絵大判二枚続
189	闇牛斎円志	隅田川料亭	錦絵大判三枚続
190	百斎久信	扇屋内花扇	錦絵間判
191	鳥文斎栄之	若那初衣裳	錦絵大判
192	喜多川歌麿	美人五面相 実があり相	錦絵大判
193	菊川英山	母と子	錦絵大判縦二枚続
194	溪斎英泉	傘美人	錦絵大判縦二枚続
195	歌川豊国ほか	鞍馬山見立 花合戦牛若丸	錦絵大判三枚続
196	歌川国貞	船宿の客	錦絵大判三枚続
197	歌川広重	東海道川つくし はこね谷川の図	錦絵大判三枚続
198	歌川広重	東都両国納涼花火之図	錦絵大判三枚続
199	歌川国芳	山海愛度図会 はやく酔いをさましたい	錦絵大判
200	司馬江漢	駿州八部富士	銅版画大判
201	亜欧堂田善	三俣真景	銅版画小判
202	歌川豊春	阿蘭陀フランスカノ伽藍之図	錦絵大判
203	柳々居辰斎	六郷渡	錦絵大判
204	歌川国虎	近江八景 三井晩鐘	錦絵大判
205	葛飾北斎	富嶽三十六景 尾州不二見原	錦絵大判
206	葛飾北斎	富嶽三十六景 武州玉川	錦絵大判
207	葛飾北斎	百人一首うはがゑとき 文屋朝康	錦絵大判

## 3. ゴッホと広重

208	歌川広重	五十三次名所図会 石薬師	錦絵大判
209	歌川広重	名所江戸百景 亀戸梅屋舗	錦絵大判
210	歌川広重	名所江戸百景 大はしあたけの夕立	錦絵大判

## 4. 幕末バラエティ

211	溪斎英泉	江戸不忍(しのばず)弁天ヨリ東叡山ヲ見ル図	錦絵大判
212	歌川国貞	紅毛油画風 永代橋馬喰町二丁目	錦絵大判

213	歌川貞秀	朝比奈島遊び	錦絵大判三枚続
214	大蘇芳年	佛蘭西大湊諸国交易図	錦絵大判三枚続
215	歌川芳幾	写真鏡 美人図	錦絵大判
216	二代歌川広重	ふらんす	錦絵大判
217	無款	亜墨利加人一覧相撲之図	錦絵大判
218	歌川国芳	相馬の古内裏 滝夜叉姫	錦絵大判三枚続
219	歌川国芳	鬼若丸大鯉を補う	錦絵大判三枚続
220	月岡芳年	清盛入道布引滝遊覧悪源太義平霊討難波次郎	錦絵大判縦三枚続
221	三代豊国	見立三十六歌撰之内 累の亡魂	錦絵大判
222	葛飾北斎	百物語 笑ひはんにや	錦絵中判
223	歌川豊国	尾上松助 こはだ小平次と女房の二役	錦絵大判
224	歌川広重	即興かげぼし尽(づく)し	錦絵大判
225	歌川国芳	人かたまって人になる	錦絵大判
226	歌川芳藤	からの子がよしかたまって人になる	錦絵大判
227	歌川芳藤	子猫あつまって大猫となる	錦絵大判

#### 5. 特別出品

1~ 30	葛飾北斎	東海道五十三次 絵本駅路鈴	錦絵中判
31~ 32	作者不詳	漫画絵巻	紙本墨画着色
33	歌川国芳ほか	扇面浮世絵貼交屏風	六曲一隻屏風

### 3. 1. 7. 生誕 110 周年記念 幸松春浦展—日本画の軌跡〈大正・昭和〉—

**概要** 幸松春浦【ゆきまつしゅんぼ 1897（明治 30）年～1962（昭和 37）年】は大分市に生まれた。1915（大正 4）年頃大阪に出て姫島竹外に入門し、南画を学んだ。1920（大正 9）年には第 2 回帝展に初入選し、1926（大正 15）年、1927（昭和 2）年の帝展では連続して特選となり、1927（昭和 2）年には無鑑査、1929（昭和 4）年には推薦、戦後の 1948（昭和 23）年からは日展委嘱として、官展系展覧会を中心に活躍した。

また、1921（大正 10）年日本南画院第 1 回展に出品。翌 1922（大正 11）年には日本南画院同人となり、1935（昭和 10）年まで同院にも出品するなど、近代日本画の創造に取り組む一方で、新たな南画の創造を目指した。

本展では大正・昭和と時代が大きく転換する中であって、日本画、洋画、南画それぞれの影響を受けながら新たな絵画を模索し、中央で高い評価を受けた幸松春浦の画業の全貌を紹介した。

**会期** 平成 20 年 1 月 5 日（土）～2 月 17 日（日） 公開日数 40 日  
**後援** 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

**助成** 財団法人 地域創造

**出品点数** 日本画（南画）等 79 点及び関連資料

※会期中一部作品（80 点の内 8 点）の展示替を行った。

前期：1 月 5 日（土）～27 日（日）後期：1 月 29 日（火）～2 月 17 日（日）

**観覧者数** 4,506 人

**観覧料** 一般 600（500）円/高大生 400（300）円、中学生以下無料

※（ ）内は 20 人以上の団体料金

**展示解説** ■美術館職員による展示開設（要観覧料）

**日時** 会期中毎週水曜日 午後 2 時～

**場所** 企画展示室

**参加者** 160 名

**印刷物** ・ポスター B2 判・チラシ A4 判・図録 30 頁 A4 判

**関連記事** 「幸松春浦展始まる」『大分合同新聞』1 月 5 日

「戦時下ゆれた理想郷」『朝日新聞』1 月 18 日

「故郷大分愛し南画の心貫く」『大分合同新聞』2 月 7 日

「親せきの幸松春浦展「懐かしい」と磯崎さん鑑賞」

『大分合同新聞』2 月 16 日

（担当／岡村）

目録

(無印) 1月5日(土)～2月17日(日)  
 前期のみ 1月5日(土)～1月27日(日)  
 後期のみ 1月29日(火)～2月17日(日)

No.	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	出品歴等	展示期間	所蔵
1	竹間門掩図	1916	116.8×35.4	絹本墨画淡彩			
2	米法山水図	1916～20頃	147.5×56.6	紙本墨画淡彩			
3	江南晩秋図屏風	1920	各 137.6× 354.2	紙本墨画淡彩			大分市 美術館
4	秋江吹笛図	1921	136.8×32.0	紙本墨画淡彩			
5	高士煎茶図	1921	24.0×36.5	紙本墨画淡彩			
6	江山清趣帖	1922	各上弦 13.8、下 弦 6.0、縦 6.2	紙本着色			
7	桃源図	1923	132.4×36.5	絹本着色			
8	山水図屏風	1924	156.5×172.8	紙本着色			大分市 美術館
9	南風生雨之図	1924	145.2×42.6	絹本墨画淡彩			
10	風雨渡江図	1925	44.5×120.7	紙本墨画			大分市 美術館
11	菜之花	1925	44.6×53.5	紙本着色			
12	南山白雲図	1926	134.1×34.4	絹本着色			
13	芍薬花図	1926	136.0×41.6	絹本着色		前期のみ	
14	雨後鷓鴣図	1927	142.5×51.5	絹本着色		後期のみ	大分市 美術館
15	水聲出谷	1927	150.7×33.2	紙本墨画			
16	蘭小禽図	1929	35.1×35.2	絹本着色			
17	梅花小禽図	1929	138.2×25.6	紙本墨画淡彩		前期のみ	
18	牡丹	1920代	138.0×33.3	紙本墨画淡彩		後期のみ	
19	柳塘朝涼図	1930頃	144.0×27.0	絹本着色			
20	松溪仙館	1931	141.6×42.4	絹本着色			
21	秋溪山水図	1933	144.6×34.0	絹本着色		前期のみ	
22	雪山幽居図	1934	149.6×32.2	紙本墨画淡彩		後期のみ	
23	松溪高士図	1935	137.0×51.8	絹本着色			
24	小鳥図	1935	26.9×18.0	紙本墨画淡彩			
25	溪上幽亭図	1930代	137.8×36.6	絹本着色			
26	高士観泉	1930代	138.0×36.4	絹本着色		後期のみ	
27	清溪遶屋	1930代	128.0×35.8	絹本墨画淡彩		前期のみ	
28	老子	1936	237.2×117.0	紙本墨画淡彩	昭和11年 文展(招待 展)		大分市 美術館
29	一谿流水	1930代	26.9×18.0	紙本墨画淡彩			
30	芍薬図	1937	127.1×29.0	絹本着色		後期のみ	
31	梅牛図	1937	122.0×33.0	紙本墨画淡彩		前期のみ	
32	南風生雨図	1937頃	131.8×29.4	紙本墨画淡彩		後期のみ	
33	空山雪後図	1930代	132.5×26.9	紙本墨画		前期のみ	

34	嵐峡春雨図	1930代	141.2×36.3	絹本墨画淡彩			
35	雪亭幽居	1930代	126.7×28.3	絹本墨画淡彩			
36	清池魚類図	1930代	30.0×42.0	絹本着色			
37	薫風図	1939頃	56.6×72.2	絹本着色			
38	雨収図	1930代	49.0×57.2	絹本着色		後期のみ	
39	鶴鳴九臯図	1930代	138.5×36.6	絹本着色			
40	瑞雪図	1930代	122.0×21.0	絹本着色			
41	後園初夏図	1930代	141.2×37.3	絹本着色		前期のみ	
42	牧童吹笛図	1930代	84.8×99.8	絹本墨画淡彩			大分市美術館
43	深山雲烟図	1930代	84.5×99.8	絹本墨画淡彩			大分市美術館
44	深山雲烟図	1930代	36.7×125.6	絹本墨画淡彩			
45	幽霊	1930代	150.0×29.0	紙本墨画淡彩		後期のみ	
46	蓮蟹図	1930代	56.5×70.0	紙本着色		前期のみ	
47	鯉	1943	35.8×43.0	絹本墨画淡彩			
48	飛瀑水禽図	1940代	131.8×31.8	紙本墨画淡彩			
49	湖上時雨図	1940代	139.6×42.2	絹本着色			
50	秋山帰樵	1940代	132.3×36.3	紙本墨画淡彩			
51	荒磯図	1940代	143.0×43.8	絹本着色			
52	清磨呂参宮図	1940代	115.4×33.5	絹本墨画淡彩			
53	長楽無極画冊	1947	各26.8×35.6	紙本着色			
54	観音	1950代	117.7×44.0	紙本着色			
55	仙隠	1950代	133.5×52.5	紙本墨画淡彩			
56	秋草兔	1951頃	115.2×131.0	紙本着色			
57	牧歌	1953	161.0×176.0	紙本着色	第9回日展		大分県立芸術会館
58	雨情	1954	136.0×123.5	紙本着色	第10回日展		
59	山路	1950代	50.2×53.0	紙本墨画淡彩			
60	早春閑日	1950代	52.5×58.4	紙本墨画淡彩			
61	旅立	1950代	47.0×51.8	紙本墨画淡彩			
62	帰漁図	1950代	50.0×57.8	絹本墨画淡彩			
63	竹林帰漁図	1950代	91.0×90.0	紙本墨画淡彩		常設展示室1	
64	西行十題之内 桜	1950代	45.4×52.4	紙本墨画淡彩			
65	小春日	1950代	46.5×53.1	紙本着色			
66	小禽図	1950代	48.8×54.1	紙本着色			大分市美術館
67	寒林棲湮図	1950代	53.5×54.0	紙本着色			大分市美術館
68	山野立春	1955	57.7×58.6	紙本着色	個展(大阪なんば高島屋)		
69	夕映	1958	52.6×57.9	紙本着色	個展(大阪なんば高島屋)		

70	溪韻	1960	53.0×58.2	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
71	西行	1950代	53.2×54.0	紙本墨画淡彩			
72	大淀	1950代	58.5×19.9	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
73	朝陽	1950代	47.8×53.1	紙本着色			
74	湧雲	1960頃	59.0×67.2	紙本着色	個展(大阪 なんば高 島屋)		
75	春	1961	47.0×52.8	紙本着色			
76	晚秋	1950~60代	52.2×58.4	紙本着色			
77	川船鷺	1950~60代	52.5×59.8	紙本着色			
78	風月帖	1950~60代	24.0×18.0	紙本墨画淡彩 他			
79	風月帖	1950~60代	30.0×20.0	紙本墨画淡彩 他			
資料 1	幸松春浦関係資料 1	1950~60代			資料		
資料 2-1	春浦遺影(葉書冊 子綴)	1950~60代	(画帖) 17.8 ×23.8	紙本墨書、紙本 着色 他	資料		
資料 2-2	春浦書状卷(16通 1巻)	1950~60代	22.6×35.5	紙本墨書 他	資料		

### 3. 1. 8. 第 42 回大分市美術展覧会

概 要 美術の各分野における市民の創作活動を促進し、発表と鑑賞の機会を提供することによって、多様で豊かな文化を創造する市民の育成をめざして開催した。

会 期 平成 20 年 2 月 28 日(木)～3 月 22 日(土) 公開日数 22 日

会 場 大分市美術館

表 賞 式 3 月 2 日 午後 2 時～2 時 30 分

主 催 大分市、大分市教育委員会、大分市美術展覧会実行委員会

後 援 大分県美術協会、アート・ブラザー、国際ソロプチミスト大分、大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

展示点数 501 点

観覧者数 7,556 人

観覧料 無料

### 3. 2. 常設展

#### 3. 2. 1. 第1期常設展

平成19年4月24日（火）～7月8日（日）

（常設展示室2 前期：5月27日（日）まで、後期：5月29日（火）より）

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 風景画 -四季を描く-

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山辰雄	椅子に	1990	116×87.5	絹本着色	
2	高山辰雄	雪	1954	66×87.5	絹本着色	
3	高山辰雄	フィレンツェへ出る	1978頃	178.0×32.0	紙本着色	
4	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	145.5×97.0	紙本金砂子着色	
5	高山辰雄	燈	1985	211.5×139.5	紙本着色	
6	石踊達哉	林檎花	1994	130.3×162.1	紙本着色	
7	倉島重友	野の調	1987	182.0×227.0	紙本着色	
8	下田義寛	雄山曙光	1994	165.0×304.0	紙本着色	
9	岩澤重夫	由布岳	制作年不詳	65.0×91.0	紙本着色	
10	八田 哲	平戸城暮色	1990	53.0×72.8	紙本着色	
11	上村淳之	月の水辺	1990	146.0×227.0	紙本着色	
12	上村淳之	風渡る	1992	160.0×228.0	紙本着色	
13	八田 哲	春の雨（松本城）	1990	73.0×116.7	紙本着色	
14	釘宮對宕	法隆寺	1984	83.0×62.0	紙本墨画	
15	箱崎睦昌	早瀬	1998	182.0×581.0	紙本着色	
16	箱崎睦昌	冬山	1984	182.0×195.0	紙本着色	
17	林 功	江南光風	1991	各隻116.8×184.0	絹本着色	
18	中野嘉之	奥入瀬-（霜月）	1991	各隻175.8×352.0	紙本着色	
19	首藤雨郊	薩摩街道の冬	1921頃	167.8×376.0	綿本着色	首藤雨良氏寄贈
20	宮崎喜恵	あだし野	1990	162.1×130.3	紙本着色	
21	首藤詔子	秋日	1983	162.1×130.3	紙本着色	
22	鈴木忠実	飛翔	1993	162.1×262.0	紙本着色	
23	福田平八郎	竹	制作年不詳	22.0×51.5	紙本着色	個人蔵
24	福田平八郎	桃	制作年不詳	29.6×37.5	パステル	個人蔵
25	福田平八郎	猫柳	制作年不詳	18.5×14.0	紙本墨画	個人蔵
26	福田平八郎	紋鷄	制作年不詳	30.0×23.0	紙本着色	個人蔵
27	松村公嗣	ほたる	1993	166.0×332.0	紙本着色	
28	福田平八郎	桔梗	制作年不詳	26.0×23.5	紙本着色	個人蔵
29	福田平八郎	双鶴	制作年不詳	26.0×23.0	紙本着色	個人蔵
30	福田平八郎	曙富士	制作年不詳	26.5×23.8	紙本着色	個人蔵
31	福田平八郎	水仙	制作年不詳	31.0×24.5	紙本着色	個人蔵
32	金島桂華	無花果と紅葉	制作年不詳	34.0×57.5	紙本着色	個人蔵

#### 【高山辰雄記念室】

1	高山辰雄	源氏物語 序	1982	53.5×37.2	リトグラフ	
2	高山辰雄	源氏物語 空蝉	1982	55.5×38.5	リトグラフ	
3	高山辰雄	源氏物語 夕顔	1982	56.0×38.5	リトグラフ	
4	高山辰雄	源氏物語 紅葉賀	1982	58.5×38.5	リトグラフ	
5	高山辰雄	源氏物語 篝火	1982	55.3×38.3	リトグラフ	
6	高山辰雄	源氏物語 若菜	1982	55.3×38.0	リトグラフ	
7	高山辰雄	源氏物語 橋姫	1982	55.0×37.5	リトグラフ	
8	高山辰雄	丘の上	1973	134.0×215.0	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室

テーマ (前期) 富士山の絵画

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	平野五岳	富嶽図	1880	167.3×83.4	絹本墨画	
2	田能村竹田	富士図	1819	127.0×42.0	絹本着色	重文
3	田能村竹田	四季花鳥図 (四幅対) の内 秋図	1809	各130.2×60.7	絹本着色	重文
4	帆足杏雨	二見富士図	1867	124.4×62.5	紙本墨画淡彩	個人蔵
5	狩野安信	四季富士図 (四幅対)	江戸時代前期	各107.0×40.8	絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
6	小栗布岳	戸次川十二景図屏風	1896	各177.5×392.8	紙本墨画	個人蔵
7	甲斐虎山	匡廬暁翠図	制作年不詳	180.3×96.4	紙本墨画	
8	甲斐虎山	富岳瑞雲図	1921~38	181.1×94.8	紙本着色	
9	甲斐虎山	高松雙露図	制作年不詳	180.8×94.6	紙本墨画	

テーマ (後期) 水辺の風景 ★この1点 白須心華「春景山水図」

1	帆足杏雨	松陰自適図	1837頃	143.3×52.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
2	帆足杏雨	風雨赴約図	1837頃	143.1×51.7	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
3	田能村竹田	白鶴図 (対幅)	1822	各図164.3×41.5	絹本着色	重文
4	田能村直入	四季山水図 (四幅対) の内 棕湖秋月	1884	196.5×84.8	絹本着色	
5	土佐光芳	宇治実景図屏風	江戸時代中期	172.8×383.8	紙本着色	帆足市太氏寄贈
6	作者不詳	源平合戦図屏風 (一双)	江戸時代後期	各隻159.3×374.2	紙本着色	帆足市太氏寄贈
7	帆足杏雨	曲水流觴巻	1851頃	23.4×168.1	絹本着色	帆足市太氏寄贈
8	白須心華	春景山水図	1913	135.5×51.0	絹本着色	藤原文子氏寄贈
9	白須心華	四季山水図	制作年不詳	各135.7×51.4	絹本墨画淡彩	寄託品

■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 大分の美術の現在

1	油野誠一	デソリヤの街	1953	181.8×259.1	油彩、キャンバス	油野誠一氏寄贈
2	矢岡 勲	車による (A)	1962	162.1×130.3	油彩、キャンバス	矢岡勲氏寄贈
3	江藤 明	水門	1954	91.0×117.0	油彩、キャンバス	江藤明氏寄贈
4	風倉 匠	FORM EVENT	1976	90.8×73.0	油彩、キャンバス	
5	井上佐之助	ポジション'91	1991	72.0×40.9	ミクスドメディア	
6	三浦 勉	荊の塔	1958	150.3×61.0	油彩、板	三浦勉氏寄贈
7	吉村益信	CUT SEA 3	1973-74	96.0×130.3	油彩、キャンバス	吉村益信氏寄贈
8	菅 玲子	バスストップ	1976	162.1×130.3	油彩、キャンバス	
9	廣瀬通秀	モニュメント	1980	181.8×227.3	油彩、キャンバス	
10	児玉成弘	街角1987-1	1987	181.8×227.3	油彩、キャンバス	児玉成弘氏寄贈
11	岩尾善幸	夢の錯覚	1993	162.0×160.0	アクリル、キャンバス	岩尾善幸氏寄贈
12	山中眞寿子	森のポートレート	1997	162.0×194.0	油彩、キャンバス	山中眞寿子氏寄贈
13	十時 良	地表の風94-6	1994	162.1×162.1	木炭・和紙・アルミホイル他	十時良氏寄贈
14	飯尾寿夫	俺はドラゴン (1)	1998	162.0×227.0	油彩、キャンバス	
15	山崎哲一郎	地質時代 (折れまがる化石魚)	1994	163.0×163.0	油彩、キャンバス	
16	菅 久	夕紅	2001	181.8×227.3	油彩、キャンバス	
17	合田習一	WORK' 86-10	1986	182.0×27.0×24.0	木・石・銅線	
18	足利桂子	白い風景	1995	194.0×162.0	油彩、キャンバス	
19	渡辺恭英	莫	2000	192.5×222.5	アクリル、紙・板	渡辺恭英氏寄贈
20	新名隆男	風景	2004	70.0×40.0×20.0	アクリル他	新名隆男氏寄贈

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 竹のちがい、形のちがい

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	生野祥雲齋	怒涛	1960	53.0×53.0×73.5	真竹・籐	
2	生野祥雲齋	紫竹盛華籃	1965頃	27.2×30.0×62.0	黒竹	
3	生野祥雲齋	輪花永芳盛籃	1944	高14.0 径39.0	煤竹・籐	
4	生野祥雲齋	はなころも	1965頃	高28.3 径9.0	真竹	
5	生野祥雲齋	忍竹柎網代編文庫	1930頃	8.2×35.4×28.0	忍竹・籐	
6	生野徳三	白竹の籠「海宇」	1998	高26.0 径54.0	真竹・籐	
7	田辺信幸	篠竹つぶし花籠「蹲」	2001	高34.0 径50.0	篠竹	
8	本田卿雲	篠竹荒編花籠「草垣」	1988	高25.0 径23.5	篠竹・籐	

### 3.2.2. 第2期常設展

平成19年9月26日（水）～12月27日（木）

（常設展示室2のみ 前期：11月11日（月）まで、後期：11月13日（火）から）

#### ■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室

テーマ 描かれた人物-釈迦十大弟子を中心に-

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
1	高山辰雄	少女	1992	100.0×75.5	紙本着色	
2	高山辰雄	壺	1943	129.9×75.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
3	高山辰雄	由紀子立像	1945頃	79.4×52.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
4	高山辰雄	黒い服の少女	1948	57.5×53.5	絹本着色	
5	高山辰雄	赤い服の女	1950	49.4×57.6	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
6	高山辰雄	子	1950	122.2×75.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
7	高山辰雄	湯泉	1934	244.0×187.0	絹本着色	(注) 大分県立美術館蔵
8	高山辰雄	冬瓜図	1952	51.5×70.0	絹本着色	
9	高山辰雄	鶉	1955	145.5×97.0	紙本着色	
10	高山辰雄	赤い服の女	1950	122.2×75.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
11	高山辰雄	静物	1950頃	48.5×56.5	絹本着色	
12	高山辰雄	緑の野に	1952	67.0×92.5	絹本着色	
13	高山辰雄	丘の上	1973	134.0×215.0	紙本着色	
14	高山辰雄	卵	1950頃	27.2×35.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
15	高山辰雄	雪	1954頃	66.0×87.5	絹本着色	
16	高山辰雄	沼にうつる	1955	48.5×72.6	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
17	高山辰雄	風景	1955頃	38.4×61.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
18	高山辰雄	夕	1955	64.5×93.7	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
19	高山辰雄	青い空	1957	41.2×57.9	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
20	高山辰雄	道	1961	45.5×60.6	紙本着色	
21	高山辰雄	山の音	1958	60.5×92.4	紙本着色	
22	高山辰雄	フィレンツェへ出る	1978頃	178.0×32.0	紙本着色	
23	高山辰雄	燈	1985	211.5×139.5	紙本着色	
24	高山辰雄	豊後里道に月を見る	2005	145.5×97.0	紙本金砂子着色	寄託品
25	高山辰雄	雨	2003	200.0×140.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
26	高山辰雄	豊山豊水	1985	35.0×65.0	紙本着色	
27	高山辰雄	雲煙に飛翔	2001	174.2×727.2	紙本金砂子着色	
28	高山辰雄	新雪	1992	224.0×160.0	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
29	高山辰雄	唐詩選 絶句	1968	画34.0×52.0/書55.8×38.0	リトグラフ	
30	高山辰雄	唐詩選 峨眉山月歌	1968	画35.0×53.8/書55.8×38.0	リトグラフ	
31	高山辰雄	唐詩選 少年行	1968	画35.5×54.0/書55.8×38.0	リトグラフ	
32	高山辰雄	紫陽花の頃	1941	125.0×41.0	絹本着色	
33	高山辰雄	堇とコップ	1956	42.0×59.5	紙本着色	
34	高山辰雄	筍	1947	44.1×51.5	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
35	高山辰雄	玄乃玄 (1)	2006	37.0×55.5	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
36	高山辰雄	玄乃玄 (2)	2006	37.0×55.5	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
37	高山辰雄	玄乃玄 (3)	2006	37.0×55.5	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
38	高山辰雄	玄乃玄 (4)	2006	55.5×37.0	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
39	高山辰雄	玄乃玄 (5)	2006	55.5×37.0	リトグラフ	(有)丸栄堂寄贈
40	横山大観	後赤壁	1902	167.3×70.7	絹本着色	
41	山本丘人	潤声	1953	185.0×185.0	絹本着色	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
42	福田平八郎	鯉	1939	43.2×87.2	絹本着色	
43	福田平八郎	雉子	1938	134.0×42.2	絹本着色	
44	森田曠平	立木観世音	1988	205.0×250.0	紙本着色	
45	畠中光享	釈尊十大弟子「摩訶迦葉」マハ・カッサバ	1986	190.0×95.0	紙本着色	
46	畠中光享	釈尊十大弟子「舍利弗」サーリブッタ	1986	190.0×95.0	紙本着色	
47	畠中光享	釈尊十大弟子「目犍連」モッガラーナ	1986	190.0×95.0	紙本着色	
48	畠中光享	釈尊十大弟子「須菩提」スプーティ	1986	190.0×95.0	紙本着色	
49	斎藤 隆	釈迦十大弟子 阿難像	1982-83	180.0×83.0	鉛筆、紙	
50	斎藤 隆	釈迦十大弟子 摩訶迦旃延像	1982-83	180.0×83.0	鉛筆、紙	
51	千住 博	ホーラ (Horus)	1991	162.1×227.3	紙本着色	
52	幸松春浦	雨後鷓鴣図	1927	142.5×51.5	絹本着色	
53	堀 泰明	西域紀行・踊子	1988	185.0×230.0	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・文人画 富春館記念室  
 テーマ (前期) 帆足杏雨 -新収蔵品を中心に-

1	野田青石	帆足杏雨肖像	1891頃	130.7×42.1	絹本着色	個人蔵
2	帆足杏雨	清溪書屋図	1829	109.2×38.5	紙本墨画淡彩	
3	帆足杏雨	山静日長図	1831	102.2×42.6	絹本墨画淡彩	寄託品
4	帆足杏雨	秋晴晩歩図	1832	50.0×41.4	紙本墨画淡彩	
5	帆足杏雨	梅溪暁艤図	1834	158.5×45.0	紙本墨画淡彩	
6	帆足杏雨	浅絳山水図	1835	123.0×50.5	絹本墨画淡彩	
7	帆足杏雨	設色花鳥図	1841	115.8×35.5	絹本墨画着色	
8	帆足杏雨	老圃秋容図	1848	154.8×57.2	絹本墨画着色	
9	帆足杏雨	南山松柏図	1851	130.2×50.4	絹本墨画淡彩	
10	帆足杏雨	松竹梅書画貼交屏風(一双)	1864	各隻141.6×326.6	紙本墨画・紙本墨書	帆足市太氏寄贈
11	帆足杏雨・中澤雪城	秋聲賦及賦意図(対幅)	書1844・画1847	各136.0×43.0	絹本墨書・絹本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
12	帆足杏雨	峻嶺飛泉図・霜林晚露図	1865	各173.0×52.0	絹本墨画淡彩・絹本墨画	
13	田能村竹田	秋溪趁約図	1834	136.0×60.0	紙本墨画	重文
14	作者不詳	帆足杏雨肖像	明治時代	48.6×37.8	油彩、紙	個人蔵

テーマ (後期) 高橋草坪

1	高橋草坪	山水妙清図	1823	110.0×26.8	紙本墨画	寄託品
2	高橋草坪	黄葉邨舎図	1822~29頃	128.7×48.6	紙本墨画淡彩	
3	高橋草坪	青緑松林山水図	1830~35頃	43.4×90.3	絹本墨画着色	寄託品
4	高橋草坪	白梅図	1832	23.2×27.9	紙本墨画	
5	高橋草坪	富貴平安図	1831	21.3×16.0	紙本墨画	寄託品
6	高橋草坪	鉄騎横行図	1822~29頃	33.0×26.9	板墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
7	田能村竹田	月下芦雁図	1823	149.7×330.4	紙本墨画	重要文化財
8	田能村竹田	四季花鳥図(四幅対)の内 冬図	1809	各130.2×60.7	絹本着色	重要文化財
9	田能村竹田	田能村如仙宛書簡	1829	18.0×7.8、19.5×9.8	紙本墨書	
10	田能村如仙	無腸公子図	制作年不詳	127.0×30.5	紙本墨画	
11	帆足杏雨	雪溪吟鞭図	1837頃	143.0×51.7	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
12	後藤碩田	晩江帰棹図	江戸時代後期	130.0×30.0	紙本墨画	
13	田能村直入	瀛洲図	1838	35.6×100.9	紙本墨画・紙本墨書	寄託品
14	中林竹洞	烟江疊嶂図	1829	130.9×37.2	絹本墨画	帆足市太氏寄贈
15	頼山陽	頼山陽墨蹟	1829	130.9×37.2	絹本墨書	帆足市太氏寄贈

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
16	浦上春琴	花鳥図	1829	130.9×37.2	絹本着色	帆足市太氏寄贈
17	篠崎小竹	篠崎小竹咏史	江戸時代後期	143.9×57.3	紙本墨書	帆足市太氏寄贈

### ■常設展示室3 近代・現代の洋画・版画

テーマ 描かれた人物—多様な表現—

1	熊井惇	楽暫閑	1948	91.0×116.7	油彩、キャンバス	熊井恭子氏寄贈
2	熊井惇	扇持つ少女	1951	116.7×91.0	油彩、キャンバス	熊井恭子氏寄贈
3	江藤純平	陰山先生像	1952	116.7×91.0	油彩、キャンバス	江藤クニ子氏寄贈
4	佐藤敬	印度少女	1943	72.5×53.2	油彩、キャンバス	岸井真弓氏寄贈
5	佐藤敬	浴場	1951	130.0×160.0	油彩、キャンバス	
6	パブロ・ピカソ	女の顔	1952頃	高さ53×径27	陶器	寄託品
7	幸 壽	歌声を聞く女達	1967	162.0×130.0	油彩、キャンバス	
8	菅 玲子	行水	1955	80.3×60.6	油彩、キャンバス	菅玲子氏寄贈
9	工藤和男	働く人	1970	160.0×130.0	油彩、キャンバス	
10	平野 遼	逃げる一団	1972	160.0×130.0	油彩、キャンバス	
11	工藤和男	群	1974	160.0×130.0	油彩、キャンバス	
12	糸園和三郎	車椅子の老婦	1982	140.0×130.0	油彩、キャンバス	
13	赤木範陸	ある女の変容の為の習作	1985	91.5×91.5	蜜蝋、生キャンバス	赤木範陸氏寄贈
14	大竹伸朗	コンパセーション	1982	162.0×162.0	アクリル、キャンバス	
15	赤木範陸	ある女の変容	1986	183.1×182.4	ワックステンペラ、板に白亜地	赤木範陸氏寄贈
16	赤木範陸	転生するプーボラのいる風景	1988	156.0×183.5	ワックステンペラ・金箔、板	
17	龍淵純一	森の散策者(何だか音楽が聞こえてくるような)	1994	74.5×144.5	アクリル・胡粉、紙	龍淵純一氏寄贈
18	工藤和男	朝の港	1995	193.0×162.0	油彩、キャンバス	
19	赤木範陸	<ランツフートの婚礼>より 巫女たちの宴	2001	70.0×90.0	エンコスティック、生キャンバス	
20	赤木範陸	<ランツフートの婚礼>より 笛吹く人	2001	60.0×50.0	エンコスティック、生キャンバス	
21	宮崎勇次郎	エンドレスパラダイス	2005	91.5×466.0	アクリル、キャンバス	宮崎勇次郎氏寄贈
22	飯尾寿夫	木霊	2002	130.0×130.0	油彩、キャンバス	飯尾寿夫氏寄贈

### ■常設展示室4 竹工芸

テーマ 暮らしの中の竹工芸

1	此君亭工房	七宝紋こつぶ受	昭和後期	高1.5 径6.8	竹・籐	6枚組
2	此君亭工房	桔梗	昭和後期	2.7×14.7×12.7	竹	5枚組
3	此君亭工房	波な筏	昭和後期	2.2×19.0×6.5	竹・籐	3枚組
4	生野祥雲斎	紫竹炭斗	1932頃	23.0×20.8	竹・籐	
5	生野祥雲斎	秋苑	1946	31.0×34.0	竹・籐	
6	生野祥雲斎	竹筥	1964	16.0×32.0×32.0	竹	
7	此君亭工房	四極皿(大手付き)	1980頃	17.0×27.0×24.5	竹・籐	
8	此君亭工房	干菓子盆	1974	0.7×24.3×17.7	竹	
9	此君亭工房	竹盆 胡蝶(紅白)	1961頃	6.5×35.0×18.8	竹・籐	
10	此君亭工房	笹舟(クリヤー)	昭和後期	5.5×18.3×7.7	竹・籐	

### 3. 2. 3. 第3期常設展

平成20年1月5日(土)～4月20日(日)

(常設展示室2のみ 前期:2月17日(日)まで、後期:2月19日(火)から)

■常設展示室1 近代・現代の日本画 高山辰雄記念室(作品No.10～20)

テーマ 大分の20世紀美術-日本画・洋画・工芸-

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法	備考
1	福田平八郎	紅葉と虹	1947	61.0×88.0	絹本着色	
2	福田平八郎	真鯉	1943頃	48.6×72.0	絹本着色	寄託品
3	福田平八郎	紅梅	1941頃	54.5×39.2	紙本着色	
4	福田平八郎	竹	1940代	22.0×51.5	紙本着色	個人蔵
5	福田平八郎	松茸	制作年不詳	20.5×31.2	紙本着色	個人蔵
6	福田平八郎	蜜柑	1956頃	60.6×45.5	紙本着色	
7	福田平八郎 金島桂華	無花果と紅葉	制作年不詳	34.0×57.5	紙本着色	個人蔵
8	福田平八郎	黄鵠鴿	制作年不詳	29.5×42.3	紙本着色	個人蔵
9	福田平八郎	暖冬	制作年不詳	46.3×66.8	絹本着色	個人蔵
10	高山辰雄	立春	1937	42.8×56.8	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
11	高山辰雄	黒いもんぺ	1944	174.2×70.6	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
12	高山辰雄	襟巻	1949	51.2×59.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
13	高山辰雄	子	1950	122.2×75.0	絹本着色	高山辰雄氏寄贈
14	高山辰雄	鶉	1955	145.5×97.0	紙本着色	
15	高山辰雄	青の夜	1961頃	38.0×55.0	紙本着色	
16	高山辰雄	明けゆく	1958	55.5×76.5	紙本着色	
17	高山辰雄	猫と玉葱	1957	55.6×77.1	紙本着色	高山辰雄氏寄贈
18	高山辰雄	弥生	2006	76.0×55.0	紙本墨画	寄託品
19	高山辰雄	聖家族 VII	1976	32.1×23.3	エッチング	
20	高山辰雄	聖家族 XI	1976	28.8×35.8	エッチング	
21	高山辰雄	椅子に	1990	116.0×87.5	絹本着色	
22	正井和行	発掘	1992	190.0×160.0	紙本着色	
23	岩澤重夫	郷	1987	191.0×180.0	紙本着色	
24	岩澤重夫	輝やく峰	1998	220.0×145.0	紙本着色	
25	片多徳郎	キンカン	1912	72.9×53.2	油彩、キャンバス	
26	権藤種男	秋溪	制作年不詳	37.0×44.0	油彩、キャンバス	寄託品
27	佐藤 敬	独唱	1936	197.1×273.1	油彩、キャンバス	
28	佐藤 敬	制作	1936	197.0×265.0	油彩、キャンバス	
29	佐藤 敬	裸婦	1952	73.0×91.0	油彩、キャンバス	
30	熊井 惇	扇持つ少女	1951	116.7×91.0	油彩、キャンバス	熊井恭子氏寄贈
31	仲町謙吉	きものの女	1961	162.1×130.3	油彩、キャンバス	
32	工藤和男	琉球の舞	1993	160.0×130.0	油彩、キャンバス	
33	脇坂秀樹	船がある	1965	97×162	油彩、キャンバス	脇坂秀樹氏寄贈
34	秦 米陽	観音図	1917	122.5×33.8	絹本着色	浦邊宗紀氏寄贈
35	幸松春浦	竹林帰漁図	1950代	91.0×90.0	紙本墨画淡彩	
36	松本古村	風雨渡船図	1930	154.0×145.5	絹本着色	
37	高倉観崖	長江春嵐・空山凍雲	1936	各143.0×28.0	絹本墨画淡彩	
38	牧皓堂	山水図	制作年不詳	136.0×32.0	紙本墨画淡彩	
39	高山辰雄	白鷺	1939頃	各隻167.7×371.4	紙本墨画・六曲一双	
40	首藤雨郊	秋庭	1938	160.8×186.2	絹本着色	
41	箱崎睦昌	情景ブランコ	1982	各112.0×193.9	紙本着色	

No.	作 者	作 品 名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
42	首藤詔子	絵巻に偲ぶ	1985	162.1×130.3	紙本着色	首藤詔子氏寄贈
43	宮崎喜恵	磨崖の佛さん	1999	160.5×110.5	画布着色	
44	今井文二	卓上	1990	162.0×227.0	紙本着色	
45	南 聡	潮	1996	180.0×360.0	紙本着色	
46	鈴木忠実	飛翔	1993	162.1×262.0	紙本着色	
47	生野祥雲齋	白竹通筒花入	1935頃	50.0×13.0×5.8	竹、籐	
48	生野徳三	水煙	2001	高56.0 径36.0	竹	
49	河合誓徳	釉裏紅 映	1992	6.0×43.2×43.2	磁器	
50	福田平八郎	紅白梅	1940代後半	31.5×48.5	紙本着色	
51	福田平八郎	白梅眼白	1940頃	45.0×65.0	紙本着色	
52	福田平八郎	光雪	1933頃	134.5×42.0	紙本着色	

■常設展示室2 近世の絵画・南画（文人画） 富春館記念室

テーマ （前期）田能村竹田と上方

1	田能村竹田	伏水望京図	1823	107.2×26.4	紙本墨画	
2	田能村竹田	暗香疎影図	1831	136.0×57.0	紙本墨画淡彩	重要文化財
3	松村景文	双鳩図	江戸時代後期	112.4×56.2	紙本着色	帆足市太氏寄贈
4	森 徹山	児島高德図	江戸時代後期	134.4×55.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
5	原 在中	楠木正成像	江戸時代後期	111.8×49.0	絹本着色	帆足市太氏寄贈
6	上田耕冲	蛭子大黒図（対幅）	幕末～明治時代	各図95.4×33.3	絹本着色	帆足市太氏寄贈
7	田能村竹田	松鶴図（四面）	1828頃	各図51.7×44.6	絹本着色	重要文化財
8	作者不詳	調馬図	桃山時代	64.5×88.4	紙本着色	帆足市太氏寄贈
9	田能村竹田	騎馬武者図	江戸時代後期	38.5×29.0	紙本淡彩	重要文化財
10	土佐光芳	宇治実景図屏風	江戸時代中期	172.8×383.8	紙本着色	帆足市太氏寄贈
11	狩野永伯	松竹梅に鶴図屏風（一双）	江戸時代後期	各隻171.5×379.4	紙本金地着色	帆足市太氏寄贈

テーマ （後期）田能村直入と田近竹邨

1	田能村竹田	白梅図	1808	115.7×38.8	紙本墨画淡彩	重文
2	田能村直入	花卉図（六幅対）	1833	各図107.5×31.0	紙本墨画淡彩	帆足市太氏寄贈
3	田能村直入	羅浮仙女図	明治時代	114.5×36.8	絹本着色	帆足市太氏寄贈
4	田能村直入	四季山水図（四幅対）	1884	各図196.5×84.8	紙本着色	
5	田近竹邨	松林飛鶴図	1896	128.0×42.5	絹本淡彩	
6	田近竹邨	桐陰遺興図	1917	170.0×52.0	絹本着色	
7	田近竹邨	寒柯帰漁図	1921	128.5×88.5	紙本墨画淡彩	
8	田近竹邨	春秋山水図屏風（一双）	1912	各隻179.2×364.8	紙本墨画淡彩	

■常設展示室3 近・現代の洋画・版画

テーマ 近現代の作家たち—様々な展開—現

1	荒木経惟	風の振り子、風倉匠	1996	各17.5×23.1	シルバープリント	
2	石松健男	ピアノを打つ	1994	各36.0×54.5	ゼラチンシルバープリント	
3	風倉 匠	アウグスチヌスの時間	1969	193.9×97.0	油彩、キャンバス	
4	風倉 匠	破滅の浄化作用	1973	162.1×130.3	油彩・アクリル・鉛筆・弓・曲線鏡	
5	風倉 匠	空隙物語	1962-63	18.2×12.0他	デカルコマニー、虫眼鏡他	
6	藤島武二	大洗海岸	1931	73.0×91.0	油彩、キャンバス	
7	里見勝蔵	観音像	1943	112.1×162.1	油彩、キャンバス	
8	野見山暁治	静物	1949	60.5×80.0	油彩、キャンバス	

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	備考
9	利根山光人	脱出	1954	130.0×162.1	油彩、キャンバス	
10	吉原治良	作品 B	1957	160.0×130.0	油彩、キャンバス	
11	今井俊満	シメール	1957	130.0×191.0	油彩、キャンバス	
12	河原 温	印刷絵画-No1・2	1959	各52.3×47.5	印画紙	
13	草間彌生	Nets	1960	151.1×106.0	油彩、キャンバス	
14	白髪一雄	地勇星病慰遅	1961	130.0×195.0	油彩、キャンバス	
15	菅井 汲	寒流	1963	130.0×162.0	油彩、キャンバス	
16	浅野弥衛	無題	1966	60.6×72.7	油彩、キャンバス	
17	津高和一	響	1972	136.0×75.0	墨、和紙	
18	野見山暁治	容	1970	130.5×194.0	油彩、キャンバス	
19	草間彌生	ACCRETION (No.3)	1964	110.0×70.0	コラージュ	
20	加納光於	アララットの船あるいは空の蜜	1971-72	68.0×44.0×22.5	木他	
21	香月泰男	雲	1972	91.0×60.7	油彩、キャンバス	
22	鴨居 怜	教会 スペインB	1973	91.0×73.0	油彩、キャンバス	
23	饗嘯	レインボーレイン	1976	192.0×259.0	アクリル、キャンバス	
24	有元利夫	遊戯	1977	89.4×145.5	油彩、キャンバス	

■常設展示室4 竹工芸

テーマ 受け継がれる祥雲斎の心情 - 安倍 基 -

1	生野祥雲斎	波紋	1961	78.0×138.8	竹・ガラス繊維・木	
2	生野祥雲斎	白竹水月吊花籃	1961頃	15.0×42.0×19.0	竹	
3	安倍 基	波の光	2002	103.0×74.0	竹・木	個人蔵
4	安倍 基	花籃 大樹	1976	35.0×40.0×24.0	竹・籐	個人蔵
5	安倍 基	花籃 飛燕	1986	19.0×38.0×38.0	竹・籐	個人蔵
6	安倍 基	手付矢筈文盛籃 翼揚	2002	34.5×36.2×27.0	竹・籐	

### 3.2.4. 常時展示作品

4つの常設展示室のほか、館内・館外の各所に彫刻などの作品を常時展示した。

No.	作者	作品名	制作年	寸法 (cm)	素材・技法	場所
1	熊井恭子	風の道・水の道	2001	1200×660×560	ステンレス・スチール線	常設棟1・2F
2	田中信太郎	風の吹く場所	1992-93	193×361×16	強化プラスチック	常設棟1F
3	今井俊満	鯉のぼり-大分-	1987	200 × 1000	アクリル・キャンバス	常設展室3
4	朝倉響子	Ashley (アシュリー)	2001	H163×70×46	ブロンズ	エントランスホール
5	村井進吾	FORM-IV	1992	153×160×159	黒御影石	1F中庭
6	風倉 匠	陰陽学	2000	120×250×120	アルミ合金	企画棟屋上
7	剣持和夫	宇奈月	1993	30×30×800	ブロンズ	企画棟屋外
8	井上一朗	L-MOTION	2000	303×270×210	アルミニウム	企画棟屋外
9	安藤 泉	遊星散歩	1999	660×665×240	純銅板、鍛金	芝生広場
10	原口典之	重力	2003	H79×286×800	厚鋼板・コンクリート	芝生広場
11	佐脇健一	BOLT DOG	2000	大73×118×20 他	鉄	チャイルドハウス周辺
12	青木野枝	荒玉	2002	430×390×1740	鉄	散策路

### 3.3. サマー企画

#### 3.3.1. アート・ワンダーランド 2007<日本画のヒミツ>

**概要** 千年以上の歴史をもち、郷土出身作家の福田平八郎や高山辰雄をはじめ多くの画家たちが描いてきた「日本画」について、さまざまな特質やその魅力の秘密を探ろうとするもの。常設展示室1と2を、①もと（素材）②かたち（形式）③わざ（表現技法）④こころ（題材、制作動機）という4コーナーで構成、各観点から鑑賞の手がかりを紹介し、日本画への興味の喚起と、郷土作品に親しんでもらうことを目指した。

あわせて常設展示室3で「ふるさとの風景」、常設展示室4で「竹工芸のヒミツ」と題し、それぞれ洋画・版画、竹工芸を展示した。

**会期** 平成19年7月10日（火）～9月24日（月）

**後援** 大分合同新聞社、NHK 大分放送局、OBS 大分放送、TOS テレビ大分、OAB 大分朝日放送、大分ケーブルテレコム、エフエム大分

**出品点数** 「日本画のヒミツ」46点、「ふるさとの風景」28点、「竹工芸のヒミツ」13点

**観覧者数** 18,001人

**観覧料** 一般300（250）円／高大生200（150）円、中学生以下無料

※（ ）内は20名以上の団体料金

#### 関連行事 ■子どもアート相談

**日時** 7月25日、8月1日、8日、15日、22日、29日  
午後1時30分～3時

**場所** 常設展示室1と2の間の展示ロビー

**相談員** 美術館職員、美術館ボランティア「こもれ美」 参加者67名

#### ■日本画鑑賞のポイントと取り扱い講座「かざる・みる・しまう」

**日時** 7月30日、27日 午後2時～3時

**場所** 研修室

**講師** 美術館職員 参加者14名

#### ■夏休み子ども講座「ダンボールアート」（ダンボール工作）全2回

**日時** 7月24日 午前10時30分～12時30分、午後2時～4時

**講師** 池永仁志（鶴崎工業高校教諭）美術館職員、

美術館ボランティア「こもれ美」 参加者94名

■夏休み子ども講座「カーニバルの仮面」(粘土工作) 全2回

日時 7月26日、27日 午後10時30分～3時30分

講師 美術館職員、美術館ボランティア「こもれ美」 参加者 68名

■夏休み子ども講座「色で楽しもう」(フロッターージュ) 全8回

日時 8月1日、2日、3日

午前10時30分～12時30分、午後2時～4時

講師 工藤明美(造形作家)、美術館職員、  
美術館ボランティア「こもれ美」

日時 8月22日、8月23日 午後2時～4時

講師 美術館職員、美術館ボランティア「こもれ美」 参加者 361名

■夏休み子ども講座「モザイクガラスをつくろう」(モザイクガラス) 全2回

日時 8月16日、17日 午後1時30分～3時30分

講師 梶原クニ(ステンドグラス作家)、美術館職員、  
美術館ボランティア「こもれ美」

参加者 120名

■夏休み子ども講座「ビーチサンダルをつくろう」(樹脂マット工作) 全10回

日時 8月20日 午前10時30分～12時30分、午後2時～4時

8月21日 午後2時～4時

8月22日、8月23日 午前10時30分～12時30分

講師 美術館職員、美術館ボランティア「こもれ美」 参加者 190名

■ハイビジョン紙芝居と親子美術教室

日時 7月14日 午後1時15分～3時

印刷物 ・チラシA4版・ワークシート A3二つ折り 中学生用及び小学生用2種

(担当 大野、野田)

■日本画のヒミツ出品目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法
1	高山 辰雄	白鷺	1939頃	各隻 167.7×371.4	紙本着色
2	帆足 杏雨	月下竹梅図襖(四面)	19世紀後半	173.5×72.3	紙本墨画
3	狩野 安信	達磨・龍図	1662-1685	各 104.1×40.8	紙本墨画
4	高山 辰雄	緑の野に	1952頃	59.5×71.3	絹本着色
5	作者不詳	奈良絵巻「張良」	1661-1681頃	32.7×650.0	紙本着色
6	平野 五岳	扇面	1889頃	30.5×47.5	紙本墨画淡彩
7	畠中 光亨	釈尊十大弟子「阿那律」アヌルッタ	1984	190.0×95.0	紙本着色

8	畠中 光享	釈尊十大弟子「富楼那」ブナ	1986	190.0×95.0	紙本着色
9	櫛田 永養	鷹凶屏風	江戸時代前期	各隻 172.5×185.0	紙本金地墨画着色
10	住吉 広行	勿来関・白河関図	1781-1811頃	各 115.0×49.1	絹本着色
11	帆足 杏雨	風雨渡航図	1845	147.8×40.5	紙本墨画淡彩
12	平野 五岳	柳陰帰漁図	1871頃	147.0×51.5	紙本墨画淡彩
13	帆足 杏雨	京游詩画帖	1832-33	26.4×31.8	紙本墨画淡彩
14	釘宮 對岩	千鳥	1984	93.0×74.0	紙本墨画
15	釘宮 對岩	流水自帰	1977	168.0×62.0	紙本墨画淡彩
16	狩野 常信	高士喫茶図屏風	江戸時代前期	各隻 171.5×379.4	紙本墨画淡彩
17	中島 千波	眠* '91-11-壺	1991	各隻 180.0×360.0	紙本着色
18	福田平八郎	羅漢寺	制作年不詳	134.0×54.0	紙本彩色
19	福田平八郎	白梅	制作年不詳	26.3×23.4	紙本着色
20	福田平八郎	紅梅	1941頃	54.5×39.2	紙本着色
21	作者不詳	紅白菊籬図屏風	制作年不詳	各隻 123.6×283.0	紙本金地着色
22	十市 石田	花卉図押絵貼交屏風	1890	各隻 173.2×188.0	絹本墨画着色
23	高山 辰雄	紫陽花の頃	1941	125.0×41.0	絹本着色
24	箱崎 睦昌	蔓	1985	145.5×224.5	紙本着色
25	岩澤 重夫	郷	1987	191.0×180.0	紙本着色
26	高山 辰雄	壺	1943	129.9×75.9	紙本着色
27	高山 辰雄	少女	1992	100.0×75.5	紙本着色
28	福田平八郎	鯉	1943頃	48.0×72.0	絹本着色
29	福田平八郎	白梅眼白	1940頃	45.0×65.0	紙本着色
30	作者不詳	洛中洛外図屏風	1940頃	各 108.5×273.0	紙本金地着色
31	森田 曠平	隅田川	1979	45.5×909.0	紙本着色
32	高倉 観崖	遠山秋雨	制作年不詳	145.0×51.0	絹本着色
33	帆足 杏雨	淡彩山水図	1837	139.8×37.4	紙本淡彩
34	田淵 俊夫	刻	1992	338.0×165.0	紙本着色
35	田近 竹邨	桐陰遺興図(展示替)	1917	170.0×52.0	絹本着色
36	帆足 杏雨	松下納涼図	1842	142.0×56.4	絹本墨画淡彩
37	帆足 杏雨	設色花鳥図	1841	115.8×35.5	絹本墨画淡彩
38	田能村竹田	雁来紅群雀図(展示替)	1813	129.4×42.4	絹本着色
39	田能村竹田	富士図(展示替)	1819	127.0×42.0	絹本着色
40	福田平八郎	鮎(展示替)	1940頃	140.5×36.0	紙本着色
41	福田平八郎	光雪	1933頃	134.5×42.0	紙本着色
42	首藤 雨郊	村の秋晴れ	1930	227.0×186.0	紙本着色
43	高山 辰雄	新雪	1992	224.0×160.0	紙本着色
44	正井 和行	魰	1971	161.0×220.0	紙本着色
45	高山 辰雄	雨	2003	200.0×140.0	紙本着色
46	平松 礼二	路・三月の雨	1993	175.0×364.0	紙本着色

■ふるさとの風景出品目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法
1	権藤 種男	高崎山遠望	1950	72.0×91.5	油彩、キャンバス
2	江藤 純平	飯田高原の秋	1959	73.0×92.0	油彩、キャンバス
3	江藤 純平	水ヶ浦	1937頃	27.0×45.5	油彩、キャンバス

4	江藤 純平	九重高原	1980 頃	37.5×47.0	油彩、キャンバス
5	江藤 純平	志高湖	1980 頃	37.5×46.0	油彩、キャンバス
6	糸園和三郎	阿仁の丘	1977	112.0×162.0	油彩、キャンバス
7	岩澤 重夫	由布岳	制作年不詳	65.0×91.0	紙本着色
8	高山 辰雄	限りなき大分1 潮の香	1981	38.0×55.0	リトグラフ
9	高山 辰雄	限りなき大分2 昔を歩く	1981	39.0×55.8	リトグラフ
10	高山 辰雄	限りなき大分3 雨あがる高原	1981	38.4×55.6	リトグラフ
11	高山 辰雄	限りなき大分4 水しずか	1981	39.5×55.8	リトグラフ
12	高山 辰雄	限りなき大分5 春を待つ	1981	38.2×55.0	リトグラフ
13	高山 辰雄	限りなき大分6 現代のいぶき	1981	38.0×55.0	リトグラフ
14	高山 辰雄	限りなき大分7 空に映ゆる	1981	38.1×54.5	リトグラフ
15	高山 辰雄	限りなき大分8 明けゆく川	1981	38.5×54.9	リトグラフ
16	高山 辰雄	限りなき大分9 道を求めて	1981	37.5×54.7	リトグラフ
17	高山 辰雄	限りなき大分10 槌の響	1981	38.2×55.2	リトグラフ
18	後藤 真吉	高崎山	1958 頃	41.5×53.0	水彩、和紙
19	八田 哲	中津城	1993	60.6×80.3	紙本着色
20	高山 辰雄	豊山豊水	1985	35.0×65.0	紙本着色
21	権藤 種男	瓦礫の街	1945 頃	28.5×37.5	油彩、キャンバス
22	仲町 謙吉	仏頭 I	1983	162.1×130.3	油彩、キャンバス
23	仲町 謙吉	宙	1984	162.1×130.3	油彩、キャンバス
24	佐藤 溪	十文字原	1952	18.0×25.0	水彩、紙
25	菅 久	夕紅	2001	181.8×227.3	油彩、キャンバス
26	溝部 聡	別府湾風景	1962	162.0×260.0	油彩、キャンバス
27	野見山暁治	旅の終りに	1985	97.0×130.0	油彩、キャンバス
28	海老原喜之助	阿蘇	1962	60.7×72.8	油彩、キャンバス

■竹工芸のヒミツ出品目録

No.	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法
1	生野 祥雲斎	久寿玉	1964	高 43.0 径 63.0	黒竹
2	高山 辰雄	筍	1947	44.1×51.5	紙本着色
3	生野 祥雲斎	紫竹盛籃 銘此君	1965 頃	高 16.5 横 39.0	黒竹
4	田能村 直入	花卉図	1833	各 107.5×31.0	紙本墨画淡彩
5	生野 祥雲斎	秋苑	1946	高 32.0 径 34.0	煤竹、籐
6	生野 祥雲斎	白竹通筒花入	1935 頃	50.0×13.0×5.8	真竹、籐
7	生野 祥雲斎	白竹投入華籃	1965 頃	高 41.0 径 16.5	真竹、籐
8	生野 祥雲斎	紫竹宗全華籃	1969 頃	高 25.0 径 27.0	黒竹
9	生野 祥雲斎	紫竹投入華籠	1932	高 46.0 径 24.0	真竹
10	淵野 真斎	寿老人図	1822	114.2×54.4	紙本墨画淡彩
11	福田 平八郎	水蜜桃	1950 頃	31.0×42.1	紙本着色
12	生野 祥雲斎	紫竹寿老華入	1960	高 21.5 径 11.0	黒竹
13	生野 祥雲斎	無双編盛籃	1963 頃	高 9.0 径 30.0	黒竹

## 4. 教育普及事業

### 4. 1. ハイビジョンシステム

美術品の色や質感をより忠実に再現するハイビジョンを用い、所蔵品に関する静止画や動画番組等の美術情報を提供している。

#### 4. 1. 1. ハイビジョン番組

##### オリジナル静止画(ホール、ギャラリーI)

1	富春館の世界一帆足家をめぐる人々と作品一	10分
2	水に描かれた福田平八郎の世界	7分
3	祥雲齋に見いだされた竹の造形美	7分
4	日本画 高山辰雄の世界一その作品と歩み一	6分
5	抽象絵画への招待	9分
6	大分の美術・日本画	8分
7	大分の美術・洋画	8分
8	浜田知明一眼に見えぬ鉄格子の中で一	6分
9	田能村竹田『桃花流水図』を読む	7分
10	ふるさとの風景・大分	7分
11	四季の趣 江戸絵画に見る	7分
12	写実と装飾の間で一福田平八郎一	7分
13	加納光於 版画の世界	7分

##### オリジナル動画(ホール)

1	風光り水澄む郷・大分 高山辰雄画伯のふるさと	15分
2	1994 高山辰雄	30分
3	投華 密教に入る	15分
4	見えない鏡一洋画家・糸園和三郎の世界一	15分
5	竹をきわめる一生野祥雲齋一	15分
6	わが故郷・大分 日本画家 高山辰雄	19分

##### 静止画(ホール、ギャラリーII)

###### ハイビジョン美術館「美術のたのしみ」

各6分

1	ひとの顔	6	いきものの姿
2	ひとのかたち	7	ものがたり
3	人々の暮し	8	木と草花
4	踊るひと	9	幻想 ファンタジー
5	暮らしの中の静物	10	いろとかたちのリズム

エルミタージュ美術館 I

各 6 分

- |   |                |    |                       |
|---|----------------|----|-----------------------|
| 1 | 華麗なる美の殿堂       | 6  | イタリア・ルネサンスの精華         |
| 2 | バロックの巨匠 レンブラント | 7  | ヴェネツィアのルネサンス          |
| 3 | レンブラント 肖像画の世界  | 8  | 自然をみつめて               |
| 4 | レンブラント 聖書の世界   |    | コローとバルビゾン派            |
| 5 | ルネサンスの幕開け      | 9  | 光と色彩の画家 モネ            |
|   |                | 10 | 印象派の人物画<br>ルノワールと仲間たち |

エルミタージュ美術館 II

各 6 分

- |   |                            |    |                    |
|---|----------------------------|----|--------------------|
| 1 | フランドル絵画の黄金期ー<br>ルーベンスと弟子たち | 6  | 近代絵画の父 セザンヌ        |
|   |                            | 7  | 樂園を求めてーゴッホと<br>ゴッホ |
| 2 | フランスの古典 プッサンとロラン           | 8  | パリの世紀末ーナビ派         |
| 3 | 市民絵画の誕生ー<br>17世紀オランダ絵画     | 9  | 色彩への情熱ーフォーブの画家     |
| 4 | スペイン絵画の光と影                 | 10 | 20世紀の巨匠ーピカソ        |
| 5 | 雅の極地ーロココ絵画                 |    |                    |

オルセー美術館 I

各 7 分

- |   |                   |   |                              |
|---|-------------------|---|------------------------------|
| 1 | 印象派の殿堂 オルセー美術館    | 6 | 動きへの探究 ドガと踊り子たち              |
| 2 | リアリズムの巨匠 クールベ     | 7 | ヴァン・ゴッホ 炎の生涯                 |
| 3 | 大地への讃歌 ミレー        | 8 | 20世紀芸術への架け橋<br>ポンタヴェン派からナビ派へ |
| 4 | セーヌの光に魅せられて モネ    |   |                              |
| 5 | 光と大地の叙事詩 シスレーとピサロ | 9 | 20世紀絵画の父 セザンヌ                |

フィレンツェ・ルネサンス I

各 7~8 分

- |   |                           |
|---|---------------------------|
| 1 | ルネサンスの光と影 花の都フィレンツェ       |
| 2 | フィレンツェの大きな屋根 建築家ブルネレスキの創造 |
| 3 | ルネサンスへの扉 洗礼堂をめぐるコンクール     |
| 4 | 革新の波 ジョットからマザッチオへ         |
| 5 | ルネサンスの遺産 ウフィッツィ美術館 I      |
| 6 | ボッティチェリの春 ウフィッツィ美術館 II    |
| 7 | フィレンツェの花形画家 ボッティチェリ       |
| 8 | 魂を刻みつづけて ミケランジェロ          |

シカゴ美術館コレクション名作選 浮世絵 19世紀と20世紀の美術

1	浮世絵 春信・歌麿・写楽	9分
2	浮世絵 北斎・広重	8分
3	新しい自然の発見 ～ロマン派からバルビゾン派へ	10分
4	光の讃歌～フランス印象派の華	11分
5	光と闇から後期印象派の精髓	14分
6	20世紀美術の曙	15分
7	アメリカ美術のメッセージ	13分

日本美術の至宝 日本の巨匠たち 各9～12分

1	雪舟
2	狩野 永徳
3	長谷川 等伯
4	俵屋 宗達
5	尾形 光琳
6	池 大雅
7	与謝 蕪村
8	浦上 玉堂
9	円山 応挙
10	伊藤 若冲

#### 4. 1. 2. ハイビジョンデータベース

タッチペンで所蔵品を検索でき、子どもから大人まで広く利用。作品のデータは、作家名・ジャンル・制作年代・出身地・おすすめ作品の5つのメニューから検索でき、作品の全図・拡大画像・作品解説・作家解説・用語解説などを画面上に呼び出すことができる。

#### 4. 1. 3. 公開データベース数

719作品 洋画(油彩、水彩) 124/日本画 235/現代美術 60/文人画(豊後南画) 112/  
版画 99/工芸 39/彫刻 25/その他 25

#### 4. 1. 4. ハイビジョン静止画工房

画像に文字情報や音声などを加えて編集し、番組を制作することができる。

## 4.2. ハイビジョンシアター

展覧会に関するVTR等の上映

時間:午後1時30分～(但、6月は14:15～と2回。7月、8月は11:00～、15:00～と3回上映。)

場所:ハイビジョンホール

	開催日	内容(上映ソフト)
1	4月30日	わが故郷・大分 日本画家 高山辰雄 高山辰雄
2	5月3日	1994 高山辰雄 日本の巨匠シリーズ 高山辰雄 浜田知明一眼に見えぬ鉄格子の中でー
3	6月10日	光と闇～後期印象派の精髓 20世紀美術の曙 アメリカ美術のメッセージ
4	7月	《夏休みハイビジョンシアター》
5	8月	《夏休みハイビジョンシアター》
6	9月9日	昭和の記録 第1巻 ひとの顔 いるとかたちのリズム
7	10月14日	おりがみ・その宇宙 吉澤 章 神・宿る手 おりがみ・その宇宙 布施 知子 夢・解き放つ手
8	11月11日、17日	《映画上映会》 (研修室) 浮世絵にみる町人のくらし、浮世絵と歌川広重
9	12月1日、8日、 9日、15日	《映画上映会》 (研修室) 浮世絵にみる町人のくらし、浮世絵と歌川広重
10	1月13日	絵に見る日本美術のよさ 大分の美術 日本画 浦上玉堂 円山応挙
11	2月10日	絵に見る日本美術のよさ 大分の美術 日本画 浦上玉堂 円山応挙
12	3月9日	自然をみつめて コローとバルビゾン派 光と色彩の画家 モネ 印象派の人物画 ルノワールと仲間たち ヴァン・ゴッホ 炎の生涯 20世紀芸術への架け橋 ポンタヴェン派からナビ派へ

## 夏休みハイビジョンシアター

場所:ハイビジョンホール

	開催日	時間	内容(上映ソフト)
1	7月16日、22日、29日、8月5日、12日、19日、26日	13:30～(1 日1回上映)	世界名作アニメ ピノキオの冒険(44分)
2	7月16日、22日、29日、8月5日、12日、19日、26日	11:00～ 15:00～(1 日2回上映)	エルミタージュ美術館 I [ルネサンスの幕開け] 「イタリア・ルネサンスの精華」 「ヴェネツィアのルネサンス」(各6分)

#### 4. 3. 芸術・文化に親しむ講座

ハイビジョンホール等の利用を進める中で、市民の生涯学習の場として、「芸術・文化に親しむ講座」を開講した。

	講座名	期日・場所	内容・講師	人数
1	オルガンジャズを聞く	6月2日 13:30—15:30 ハイビジョンホール	オルガンジャズトリオの演奏と講話 講師:中村佳江氏・山野修作氏・田川誠一氏	71
2	色と生活	9月15日 13:30—15:30 研修室	色にまつわる講話 講師:スタジオ佳主宰 近藤敬子氏	38
3	ファゴットとホルンの響き	2月2日 13:30—15:30 ハイビジョンホール	ファゴット・ホルンの演奏と講話 講師:長野薫氏・岡村隆夫氏	83

#### 4. 4. 実技講座

広く美術・芸術に親しむ場として、高い技術を持った地域の専門家の指導による実技講座を開講した。

	講座名	期日・場所	講師	人数
1	色えんぴつ画入門	10月3日・4日 13:30—16:30 研修室	色えんぴつファクトリー主宰 丸小野由美氏	19・16
2	デッサン入門	11月9日・10日 13:30—15:30 研修室	大分県美術協会副会長 小川善規氏	18・16
3	水墨画入門	11月28日・29日 10:30—15:30 研修室	県水墨画協会会長 詫間夢鳳氏	24・23

#### 4. 5. アートカレッジ

	開催日	講義内容	展覧会解説	人数
1	6月7日	ヴェネツィア美術 講師:宗像健一学芸顧問 場所:ハイビジョンホール	仲町謙吉展(大神学芸員)	58
2	7月5日		脇正人展(大神学芸員)	58
3	7月26日		ヴェネツィア絵画のきらめき(岩尾学芸員)	48
4	8月23日		ヴェネツィア絵画のきらめき(岩尾学芸員)	43
1	6月15日	中世の美術 講師:宗像健一学芸顧問 場所:ハイビジョンホール	仲町謙吉展(大神学芸員)	62
2	7月20日		ヴェネツィア絵画のきらめき(岩尾学芸員)	56
3	9月7日		竹下夢二・高島華宵展(嶋田指導主事)	51
4	10月12日		竹下夢二・高島華宵展(嶋田指導主事)	48
5	11月16日		浮世絵名品展(宮崎学芸員)	38

#### 4. 6. 美術館で音楽会

市民に発表の場を提供し、応募者に演奏の機会を与えた。

	開催日	出演者	内容	人数
1	7月21日	WANAKA	ギター・ボーカル	のべ54
2	7月28日	高野一男 笠木哲也	クラシックギター クラシックギター	79
3	8月4日	Rose Wood	リコーダー	のべ147
4	8月11日	花音(かのん)の会	声楽	のべ73
5	8月18日	徳丸舞・徳丸佳吾	バイオリン	のべ87
6	8月25日	菅原智子	電子ピアノ	のべ133

#### 4. 7. 子ども講座

「たのしんで・みて・まなぶ」というキャッチフレーズのもと、親子で美術館に親しんでもらうことを目的に、児童・生徒を対象とした制作・鑑賞の講座を開講した。

##### 4. 7. 1. GW子ども講座

時間 13:30～15:30

場所 ハイビジョンホール、展示室、チャイルドハウス

	講座名	開催日	内容	人数
1	ビックアートに挑戦	5月4日 (全1回)	・ハイビジョン紙芝居(福田平八郎)、常設展鑑賞後、共同で大きな山の絵を描いた。講師:大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	子ども16 保護者13 計29
2	ビックアートに挑戦	5月5日 (全1回)	・ハイビジョン紙芝居(福田平八郎)、常設展鑑賞後、共同で大きな山の絵を描いた。講師:大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	子ども18 保護者12 計30
計				59

##### 4. 7. 2. 夏休み子ども講座

時間:10:30～16:00

場所:チャイルドハウス、研修室他

	講座名	開催日	内容	人数
1	ダンボールアート	7月24日(午前/午後 全2回)	・展覧会観賞後、ダンボールを使った工作を行った。会場:研修室他 講師:池永仁志氏(鶴崎工業高校教諭)、大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	94
2	カーニバルの仮面	7月26、27日(全2回)	・展覧会観賞後、紙粘土を使った仮面の制作を行った。会場:チャイルド他 講師:大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	68
3	色で楽しもうフロッタージュ	8月1、2、3日(午前/午後)22日、23日(午後)(全8回)	・展覧会観賞後、こすり出し技法を利用した絵画制作を行った。会場:研修室他 講師:工藤明美氏(造形作家)、大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	361
4	モザイクガラスをつくろう	8月16、17日(全2回)	・展覧会観賞後、モザイクガラスによる制作を行った。会場:研修室他 講師:梶原クニ氏(ステンドグラス作家)、大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	120
5	ビーチサンダルをつくろう	8月20日(午前/午後)、21、24日(午後)、22、23日(午前)(全6回)	・展覧会観賞後、樹脂マットでビーチサンダルの制作を行った。会場:研修室他 講師:大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	190
計				833

#### 4. 7. 3. ハイビジョン紙芝居と親子美術教室

ボランティアとの共同によるハイビジョン紙芝居

時間：13：15～13：30

場所：ハイビジョンホール

開催日	内容
7月14日	ハイビジョン紙芝居

ボランティアとの共同による親子美術教室

時間：13：30～15：00

場所：常設展示室、特別展示室

開催日	内容
7月14日	展覧会鑑賞

冬休み親子美術教室

時間：1時30分～4時

場所：ハイビジョンホール、常設展示室、研修室

開催日	内容	人数
12月22日	ハイビジョン紙芝居「福田平八郎」視聴、常設展「描かれた人物」等鑑賞、光のアート（REDライトを使ったミニランプの制作）講師：大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	41

春休み親子美術教室

時間：13時30分～4時

場所：ハイビジョンホール、常設展示室、研修室

開催日	内容	人数
3月27日	ハイビジョン紙芝居「福田平八郎」視聴、常設展「大分の20世紀美術」等鑑賞、常設作品の模写を中心とした絵葉書作り 講師：大分市美術館職員、大分市美術館ボランティア「こもれ美」	38

#### 4. 8. 出前鑑賞教室

所蔵作品鑑賞の機会をより多く提供するために市内小中学校等において「出前鑑賞教室」を実施した。

実施コース

日本画 福田・高山コース

- 内 容
- ・わが国を代表する福田平八郎、高山辰雄について知る
  - ・福田、高山の作品鑑賞
  - ・日本画の用具、材料の話

南画 竹田・杏雨コース

- 内 容
- ・南画の大家、田能村竹田、帆足杏雨について知る
  - ・作品の見方について
  - ・掛け軸の扱い方について

洋画 佐藤 敬コース

- 内 容
- ・大分市出身の国際的洋画家、佐藤敬について知る
  - ・佐藤敬の作品鑑賞
  - ・油絵の用具、材料の話

水墨画体験コース

- 講 師
- ・大分県水墨画協会会長 詫間夢鳳氏
  - ・水墨画の歴史について学び、実際に体験する

#### 実施状況

	開催日	会場・学年	人数	コース
1	6月27日	小佐井小学校6年	41	水墨画
2	9月26日	竹中中学校全校生徒	22	水墨画
3	10月25日	大在西小学校5年	168	福田・高山
4	11月22日	野津原中部小学校5年・6年	18	佐藤敬
6	12月6日	舞鶴小学校5年	71	福田・高山
7	1月30日	川添小学校5年・6年	99	水墨画
8	2月14日	東大分小学校5年	115	福田・高山

#### 4. 9. 職場体験

学校からの要請に応え、監視体験、学芸員体験など職場体験の場を提供した。

	開催日	学校名	人数
1	7月2日～6日	南大分中学校	7
2	8月28日～30日	大分商業高校	5
3	9月10日～14日	原川中学校	3
4	9月18日～21日	判田中学校	2

#### 4. 10. ボランティア研修講座

大分市美術館では、積極的に教育普及活動の推進を計るため、市民による「美術館ボランティア」を設置している。本講座は、本館で活躍中の美術館ボランティアを対象に知識、技能をより高めるとともに、ボランティア相互の交流を目指したものである。

研修期間：平成19年4月26日～平成20年3月13日

時間：午後1時30分～3時30分

場所：ハイビジョンホール他

	開催日	内 容	人数
1	4月26日	総会	ボランティア登録 数：91
2	6月21日	企画展・常設展レクチャー 講師：大分市美術館職員	
3	9月20日	大分の現代美術について 講師：大分市美術館 美術振興課 課長 菅 章	
4	10月25日	日本画に見る着物文化 講師：江藤明子氏	
5	11月3日・4日	上野の森アートフェスティバル参加	
6	12月13日	日本画について 講師：筑濱喜代美氏	
7	2月14日	釈迦十大弟子について 講師：大分市美術館 館長 田村文敏	
8	3月13日	講話 講師：大分市美術館 美術振興課 課長 菅 章	

#### 4.11. ボランティア活動

資料、解説（ギャラリートーク）、ワークショップ、普及・運営の4つのグループで、下記のような活動を行った。

##### (1) 資料グループの活動

活動日 毎週水曜日：金曜日午前10時～12時

活動内容 ・新聞記事スクラップの整理 ・作家別資料ファイルの整理  
・図書の整理 ・パンフレット、チラシの整理 ・その他

##### (2) 解説（ギャラリートーク）グループの活動

学習日 毎週火曜日：午後1時30分～3時30分

ギャラリートーク

第2、第4土曜日：午後1時30分～2時30分

団体対応 美術館からの要請にもとづき常設展示室の解説を中心に協力した。小学校、中学校、その他、市の公募による子ども講座受講者の団体等に対応した。

##### (3) ワークショップグループの活動

学習日 毎週水曜日：午前10時～3時

ハイビジョン紙芝居

子ども講座に合わせ7月、12月、3月に実施した。

GW、夏休み子ども講座の講師、助手

造形活動の助手等として子どもたちへの指導や補助を行った。

##### (4) 普及・運営グループの活動

学習日 毎月第1火曜日：午前10時～12時

講座、展覧会オープニングの受付などを行った。

## 4.12. 博物館実習

実習生 4名

期間 平成19年8月17日～8月27日

午前10時～午後5時

- 内容
- 1日目 事務連絡、自主研修について、学芸員と美術館について
  - 2日目 豊後南画（近世）について、美術館で音楽会聴講
  - 3日目 日本画について
  - 4日目 展覧会資料の整理
  - 5日目 自主研修
  - 6日目 ヴェネツィア展について
  - 7日目 展覧会資料の整理、アートカレッジ聴講
  - 8日目 夏休み子ども講座参加
  - 9日目 竹工芸について
  - 10日目 美術館資料の蓄積と公開について、夏休みハイビジョンシアター鑑賞、教育普及について
  - 11日目 展覧会資料の整理、日本画のヒミツ「かざる・みる・しまう」参加、まとめ

## 4.13. 各種刊行物

各種刊行物

美術館活動への参加、理解をより促進するため、当館の展示、調査・研究、教育普及などの活動に伴う、図録、ワークシート等の刊行物を発行した。

### (1) 展覧会関連

名称	規格	頁数
幸松春浦展図録	A4	30
仲町謙吉展パンフレット	A4	4
脇正人展パンフレット	A4	4
ヴェネツィア絵画のきらめき展ワークシート（小学生用）	A5	8
ヴェネツィア絵画のきらめき展ワークシート（中学生用）	298×105mm	8
アートワンダーランド2007ワークシート（小学生用）	A4	4
アートワンダーランド2007ワークシート（中学生用）	A4	4
磯崎新 7つの自選展 2008 パンフレット	A4	4
第42回大分市美術展覧会 目録	A4	6
常設展ワークシート（低学年用）	A4	4
常設展ワークシート（高学年用）	A4	4

### (2) 定期刊行物等

平成18年度 大分市美術館年報	PDF ファイル	68
-----------------	----------	----

## 5. 資料収集事業

### 5.1. 美術品等収集事業

ジャンル別収集美術品等点数(平成20年3月31日現在)

	ジャンル	購入	寄贈	合計	寄託
1	日本画	287 (13)	148 (2)	435 (15)	28 (4)
2	洋画	201 (12)	98 (12)	299 (24)	4 (-1)
3	彫刻	140	8 (1)	148 (1)	1
4	工芸	41	21	62	2
5	書	31	24	55	1
6	写真	68	11	79	0
7	版画	692	70 (6)	762 (6)	2
8	水彩	5	3	8	1
9	素描	19	1	20	50 (50)
10	デザイン	0	0	0	0
11	資料	0	11 (1)	11 (1)	1
12	その他	34	11	45	0
	合計	1518 (25)	406 (22)	1924 (47)	90 (53)

( ) 内は19年度収集点数

平成19年度収集作品

#### ■日本画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
1	高山辰雄	坂道	1948年頃	絹本着色	47.8×51.0	購入
2	福田平八郎他	果菜図	1921年頃	絹本着色	120×40.6	購入
3	片多徳郎	芙蓉蠟螂図	不詳	絹本着色	128.0×41.0	購入
4	福田平八郎	白梅	1923年	絹本着色	145.6×42.5	購入
5	福田平八郎	紅白梅	1940年代後半	紙本着色	31.5×48.5	購入
6	首藤雨郊	秋庭	1938年	絹本着色	160.8×186.2	購入
7	福田平八郎	桃	1947～50年頃	紙本着色	32.0×42.2	購入
8	富田溪仙	歳寒四友	不詳	紙本着色	137.0×35.0	購入
9	幸松春浦	竹林帰漁図	1950年代	紙本墨画淡彩	91.0×90.0	購入
10	幸松春浦	雨情	1954年	紙本着色	136.0×123.5	購入
11	福田平八郎	紫陽花孔雀図	1921年	紙本着色	147.5×145.6	購入
12	田能村竹田	疎林溪閣図	1821年	紙本墨画淡彩	128.5×46.0	購入
13	田能村竹田	白衣大士図	1830年代初頭	紙本墨画淡彩	91.7×25.5	購入
14	詫間夢鳳	竹柏勁心	2007年	紙本墨画	69.6×77.6	寄贈
15	幸松春浦	小禽図	1950年代	紙本着色	48.8×54.1	寄贈

#### ■洋画

No.	作家名	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
16	仲町謙吉	きものの女	1961年	油彩、キャンバス	162.1×130.3	購入
17	脇正人	コンポジションB	1986年	油彩、キャンバス	145.5×112.1	購入
18	風倉匠	アウグスチヌスの時間	1969年	油彩、キャンバス	193.9×97.0	購入
19	風倉匠	破滅の浄化作用	1973年	油彩・アクリル・鉛筆、目、曲線線、キャンバス	162.1×130.3	購入
20	佐藤敬	ベラスケス模写	1928年	油彩、キャンバス	80.0×60.5	購入
21	佐藤敬	Ado in Beppu	1946年	油彩、キャンバス	60.6×45.5	購入
22	佐藤敬	枯葉	1946年	油彩、キャンバス	73.0×53.0	購入
23	佐藤敬	幕間	1947年	油彩、キャンバス	73.0×53.0	購入
24	佐藤敬	巴里の裏町	1956年	グワッシュ・パステル・紙	32.5×50.0	購入
25	佐藤敬	オテル・ド・ヴィル(巴里)	1956年	グワッシュ・パステル・紙	32.0×41.0	購入
26	佐藤敬	サンドニイ風景	1956年	グワッシュ・パステル・紙	49.0×64.0	購入
27	佐藤敬	Fleur de Pierre	1960年	油彩、キャンバス	59.4×29.3	購入
28	仲町謙吉	仏頭Ⅱ	1983年	油彩、キャンバス	130.3×162.1	寄贈

29	仲町謙吉	仏	1985	油彩、キャンバス	162.1×130.3	寄贈
30	仲町謙吉	咩	1992	油彩、キャンバス	116.7×91.0	寄贈
31	仲町謙吉	耀	1994	油彩、キャンバス	116.7×90.9	寄贈
32	仲町謙吉	秋深し	2005	油彩、キャンバス	89.4×145.5	寄贈
33	脇正人	家	1958	油彩、キャンバス	80.3×116.7	寄贈
34	脇正人	作品C	1970	油彩、キャンバス	112.1×145.5	寄贈
35	脇正人	1996 (A)	1996	油彩、キャンバス	130.3×130.3	寄贈
36	脇坂秀樹	残象	1964	油彩、キャンバス	130.0×162.0	寄贈
37	脇坂秀樹	船がある	1965	油彩、キャンバス	97.0×162.0	寄贈
38	御手洗賢司	予感	1992	油彩、キャンバス	110.0×144.0	寄贈
39	幸寿	絵馬	1949	油彩、キャンバス	60.0×90.0	寄贈

■版画

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	サイズ(cm)	備考
40	谷口晶之	版画集「象」	2005	シルクスクリーン、紙	各53×35.5	寄贈

■素描

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
61	本郷新	絵子	1940	ブロンズ	高16.3×幅13×奥行10	寄贈

■資料

No.	作者	作品名	制作年	技法・素材	寸法(cm)	備考
62	佐藤 敬	パリ	1966	絵付け皿	高1.5×径23	寄贈

## 5.2. 平成19年度作品貸出実績

No.	作者	作品名	展覧会名	
			会場：会期	
1	福田平八郎 福田平八郎	池辺游魚 鮎	水の情景—モネ、大観から現代まで 横浜美術館 平成19年4月21日～7月1日	
2	フランスコ・デ・ゴヤ フランスコ・デ・ゴヤ	カプリチオス80点 戦争の惨禍80点	スペインの巨匠 ゴヤ展 ハウステンボス美術館 平成19年5月11日～6月10日	
3	上野未央	05創（いのち）-Ⅲ	京都春季創画展 京都市立美術館 平成19年4月10日～22日	
4	福田平八郎 福田平八郎 福田平八郎 福田平八郎	池辺の家鴨 紅葉虹 冬日 蜜柑	福田平八郎展 京都国立近代美術館 平成19年4月24日～6月3日 松坂屋美術館 7月14日～8月7日 ※「冬日」「蜜柑」は松坂屋美術館のみ展示	
5	高山辰雄 高山辰雄 高山辰雄 高山辰雄 高山辰雄	立春 黒いもんぺ 襟巻 猫と玉葱 椅子に	高山辰雄展 資生堂アートハウス 平成19年9月28日～12月5日	
6	吉野辰海 四谷シモン	十字行 木枠で出来た少女2	六本木クロッシング：日本美術の新しい展望2007 森美術館 平成19年10月13日～1月14日	
7	上村淳之	月の水辺	上村淳之の日本画展 パリ三越エトワール 平成19年10月23日～平成20年2月15日	
8	田能村直入	羅浮仙女図	文人書画展 没後百年 田能村直入 竹田市立歴史資料館 平成19年11月1日～11月27日	
9	岩澤重夫	響	日本画家「岩澤重夫」の世界 日田文化会館 平成19年12月23日～平成20年1月31日	
10	上村淳之	月の水辺	上村淳之の日本画展 日本橋三越 平成20年3月4日～16日 福岡三越、25日～30日	
	合計	のべ177点	10展覧会／12会場	

### 5.3. 図書

4,561冊（平成19年3月31日現在）

### 5.4. 映像資料

- |                          |              |
|--------------------------|--------------|
| (1) 高山辰雄                 | (26分) VHS    |
| (2) 日本の巨匠シリーズ 日本画家 中島 千波 | (26分) VHS    |
| (3) 版画の技法と表現 木版画         | (23分23秒) VHS |
| (4) ネオ・タダビデオ R1          | (70分26秒) D2  |
| (5) ネオ・タダビデオ R2          | (71分1秒) D2   |
| (6) ネオ・タダ展イベントビデオ        | (44分30秒) D2  |
| (7) 世界・美の旅14 ゴヤ          | (30分) VHS    |
| (8) 世界・美の旅10 ピカソ         | (30分) VHS    |

## 6. 管理運営

### 6.1. 職員数

年度別推移

	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度
美術館美術振興課							16 (1)	16 (1)
美術館管理課	7	7	7	6	7(1)	7(1)	-	-
アートプラザ	7(3)	7(3)	7(3)	7(4)	7(4)	7(4)	7 (4)	指定管理者
美術館学芸課	11	11	11	11	10	10	-	-
計	25(3)	25(3)	25(3)	24(4)	24(5)	24 (5)	23 (5)	16 (1)

(平成19年4月1日現在) ( ) は非常勤嘱託職員内数

美術館管理課及び美術館学芸課は平成10年12月1日設置。平成19年4月1日から機構改革により1課3班(グループ)・美術館美術振興課とした。

平成19年度

職名	次長	課長	課長補佐、主幹	係長、主査	主任	指導主事	嘱託	合計
館長・課長・顧問	1	1					1	3
総務担当班			1	1	2			4
学芸担当班			1		4			5
広報普及担当班			1		1	2		4
アートプラザ								0

### 6.2. 事務分掌

課	班(グループ)	事務分掌
美術館美術振興課	総務担当班	(1) 美術館の施設及び設備の維持管理並びに使用許可に関する事。
	学芸担当班	(1) 美術品及び美術に関する資料(以下「美術品等」という。)の収集、保管及び展示に関する事。 (2) 美術に関する専門的な調査及び研究に関する事。 (3) 寄託及び寄贈に係る美術品等の選定に関する事。 (4) 美術に関する案内書、解説書、目録等の刊行に関する事。 (5) 美術に関する展覧会、講演会、研究会等の開催及び奨励に関する事。
	広報普及担当班	(6) 他の美術館等との連絡、協力、情報の交換及び美術品等の相互貸借等に関する事。 (7) 美術の教育及び普及に関する事。
	アートプラザ	(1) 指定管理者に対する指導及び助言並びにモニタリングに関する事。 (2) 60年代ホール及び磯崎新建築展示室資料等の保管及び展示に関する事。

### 6.3. 利用状況

#### (1) 利用者内訳

年度	展覧会			研修室	フリーゾーン				美術館展示施設等の利用者の合計 (G)=A+B+F	美術館レストラン (H)	美術館施設利用者総計 (I)=G+H	チャイルドハウス (J)	美術館出前教室 (K)	美術館全体の総利用者再計 (L)=I+J+K			
	常設展	特別展	小計 (A)		ハイビジョンホール												
				館事業講座	特別展関連講座	その他	小計 (C)	ミュージアムショップ (D)	その他(図書コーナー、ティールラウンジ等) (E)	フリーゾーン中計 (F)=C+D+E							
10	45,226	43,556	88,782	263					4,337	4,337	93,382	10,027	103,409	103,409			
11	77,837	79,900	157,737	5,085	1,439			1,439	11,048	12,487	175,309	32,040	207,349	143	587	208,079	
12	66,956	81,684	148,640	3,532	1,982	257	1,600	3,839	10,430	14,269	166,441	23,672	190,113	120	791	191,024	
13	49,964	67,206	117,170	6,806	1,621	269	2,000	3,890	8,632	12,522	136,498	21,120	157,618	194	1,633	159,445	
14	33,226	86,488	119,714	5,936	1,563	241	2,000	3,804	4,378	8,182	133,832	14,861	148,693	1,465	1,188	151,346	
15	40,774	70,660	111,434	8,073	2,026	17,043	933	20,002	10,421	30,423	149,930	8,421	158,351	1,078	1,566	160,995	
16	33,492	29,705	63,197	7,885	5,056	561	2,209	7,826	3,981	14,121	25,928	97,010	43,198	140,208	1,020	1,269	142,497
17	35,594	32,218	67,812	8,116	5,822	1,848	1,881	9,551	6,006	23,779	39,336	115,264	41,760	157,024	414	566	158,004
18	41,965	56,163	98,128	10,359	4,577	1,375	2,420	8,372	8,391	33,541	50,304	158,791	46,398	205,189	413	800	206,402
19	39,688	55,723	95,411	8,935	2,526	563	1,874	4,963	7,543	28,928	41,434	145,780	46,428	192,208	243	644	193,095
累計	464,722	603,303	1,068,025	64,990	26,612	22,157	14,917	63,686	75,167	100,369	239,222	1,372,237	287,925	1,660,162	5,090	9,044	1,674,296

#### (2) 企画展(特別展) 観覧者

展覧会名	開催期間	日数	観覧者	一日平均
高山辰雄・浜田知明・赤瀬川原平そして黒澤明の版画世界一人と社会をみつめて	平成19年 4月20日～ 5月20日	28	2,354	84
郷土在住作家展 I 仲町謙吉展	平成19年 6月 5日～ 6月21日	15	2,326	155
郷土在住作家展 I 脇 正人展	平成19年 6月23日～ 7月 8日	15	1,270	85
ヴェネツィア絵画のきらめき - 栄光のルネサンスから華麗なる18世紀へ -	平成19年 7月14日～ 8月27日	44	19,470	443
竹下夢二・高島華宵と大正ロマン・昭和モダンの画家たち展	平成19年 9月 7日～10月28日	46	9,008	196
広重・北斎の東海道五十三次と浮世絵名品展	平成19年11月 2日～12月16日	41	9,233	225
生誕110周年記念 幸松春浦展 - 日本画の軌跡〈大正・昭和〉 -	平成20年 1月 5日～ 2月17日	40	4,506	113
第42回 大分市美展覧会 [公募展]	平成20年 2月28日～ 3月22日	22	7,556	343

#### (3) 年度別展覧会開催日数

年度	11	12	13	14	15	16	17	18	19
常設展	307	300	309	300	306	304	301	314	321
特別展	247	242	267	247	251	160	191	222	251

## 6.4. 建築設備概要

建物概要	所在地	大分市大字上野 865 番地
	設計	内井昭蔵建築設計事務所
	監理	大分市土木建築部建築課、内井昭蔵建築設計事務所
	施工	建築: 清水建設・佐伯建設特定建設工事共同企業体 電気: 東芝プラント建設・大徳電業特定建設工事共同企業体 空調: ダイダン・但馬設備工業特定建設工事共同企業体 給排水衛生: 富士輝工業株式会社 昇降機: 株式会社東芝 都市ガス: 大分瓦斯株式会社
	工事期間	平成 8 年 12 月 18 日～平成 10 年 9 月 30 日
	総事業費	7, 090, 129 千円
建築概要	敷地面積	129, 837 m <sup>2</sup> (上野丘公園全体)
	建築面積	美術館 6, 570. 65 m <sup>2</sup> 屋外便所 52. 86 m <sup>2</sup> 計 6, 623. 51 m <sup>2</sup>
	延床面積	美術館 9, 036. 48 m <sup>2</sup> 屋外便所 48. 52 m <sup>2</sup> 計 9, 085. 00 m <sup>2</sup>
	構造	鉄筋コンクリート造・一部鉄骨鉄筋コンクリート造地上 2 階建
	屋根	外断熱アスファルト防水押えコンクリート、鉛破覆銅板立ハゼ葺・一部瓦棒葺・アルミダイキャスト
	外壁	珪藻土搔落し、洗い出し、金ゴテ押え、鉛破覆銅板平葺・菱葺、せつ器質タイル張、アルミダイキャスト、アルミ押出リブパネル、諫早石ソフビシヤン
電気設備	電力引込	3 相 3 線 6.6KV 60HZ 1 回線受電地中引込
	受変電	屋内キュービクル式受配電盤 設備受量 1800KVA
	非常用	発電機 1 台 ガスタービン 375KVA 出力 610PS 蓄電池(非常照明用)1 組 無停電電源装置 1 式
弱雷設備	設備内容	電話設備、放送設備、インターホン、難聴者設備(フラットループアンテナ)、盲人誘導装置(コントロールボックス、スピーカー6)、電気時計装置、ローカルアンプワゴン、研修室 AV 装置(ビデオプロ)ジェクター、電動昇降スクリーンほか)
空調設備	熱電	直焚吸収冷温水機 2 空冷スクリュウヒートポンプチラー1 冷却塔 2
	空調機	4 管式 AHU 単一ダクト方式(24 時間系統)、2 管式 AHU 単一ダクト方式(一般系統)、酸アルカリ除去、フィルター装置、パネルヒーターパッケージ型空調機
	換気	給気送風機、排気送風機、空調換気扇、オゾン脱臭機
給排水	給水	圧力方式(一部直接給水)
衛生設備	排水	構内: 分流方式 構外: 合流方式(公共下水道)

昇降機 乗用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 車椅子仕様 定員 13 名 / 1 基、  
油温油圧補償制御方式 車椅子仕様 定員 11 名 / 2 基  
荷物用エレベータ 油圧 2 段速度制御方式 積載量 2,500kg / 1 基

テーブルリフター リフト 1.58m テーブル 1.5m × 3m 荷重 3,000kg / 2 基

## 6.5.フロア別面積

建築面積（単位：㎡）

美術館	外便所棟	合計
6,570.65	52.86	6,623.51

延床面積（単位：㎡）

企画展示棟	常設展示棟	合計	屋外便所棟	総計
5,841.93	3,194.55	9,036.48	48.52	9,085.00

部門別面積

部門	面積（単位：㎡）	構成比率	室名	面積（単位：㎡）
展示部門	2,097.81	23.2	企画展示室1	428.88
			企画展示室2	429.25
			常設展示室1	495.45
			常設展示室2	237.24
			常設展示室3	195.74
			常設展示室4	79.72
			展示ロビーほか	231.53
教育普及部門	494.68	5.5	ハイビジョンホール	120.68
			ハイビジョンブース	34.88
			ハイビジョン静止画工房	18.24
			研修室	169.94
			図書コーナー	101.77
			ボランティア室	49.17
サービス部門	2,085.96	23.1	ミュージアムショップ	126.1
			エントランスホール	299.94
			レストラン	322.84
			救護室	8.61
			授乳室	19.08
			ティーラウンジ・ロビー他	1309.36
収蔵部門	1,410.13	15.6	収蔵庫1	320.05
			収蔵庫2	229.45
			収蔵庫3	180.66
			収蔵庫4	109.21
			荷解室1・2、荷卸室ほか	570.76
管理部門	593.30	6.6	館長室	32.18
			事務学芸員室	242.93
			会議室1・2	110.79
			中央監視室	54.01
			応接室ほか	153.39
その他	2,354.63	26.0	機械室関係	944.92
			廊下・階段・ELV	897.27
			倉庫・WC等	512.44
合計	9,036.48	100.0		

## 6.6. 決算

(単位:千円)

項目	年度	平成19年度	
		美術館	アートプラザ
人件費		135,332 (職員16名分 ※嘱託1名分含む)	
管理費	委託料	94,806	80,887
	光熱水費	54,074	15,480
	その他	37,591	2,444
	小計	186,471	80,887
人件費+管理費		321,803	80,887
事業費	展覧会事業	63,970	
	教育普及事業	7,352	
	資料関係費	50,000	
		0	
	小計	121,322	
合計		443,125	80,887
総計			524,012

## 6.7. 利用案内

### 利用時間・料金

開館時間 午前10時～午後6時（入館は午後5時30分まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）。但し、毎月第1月曜日は開館しその翌日の火曜日が休館。年末年始（12月28日～1月4日）。

観覧料 常設展

区分	個人	団体（20人以上）
一般	300円	250円
高・大生	200円	150円

特別展

特別展料金はその都度決定する。

施設使用料

室名	使用料
研修室	1時間につき 1,050円

注 冷暖房期間中は、上表により算定した使用料の4割に相当する額（冷暖房使用料）を加算する。

### 交通案内

バス JR大分駅から大分バス 大分市美術館・駅裏循環 [大分市美術館] 下車  
 タクシー JR大分駅から約10分  
 車 大分自動車道／大分I.C. から約10分

## 6. 8. 条例

[http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki\\_honbun/aq50206181.html](http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206181.html)

## 6. 9. 条例施行規則

[http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki\\_honbun/aq50206191.html](http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206191.html)

## 7. アートプラザ

### 7. 1. 運営方針

ゆとりと豊かさがあふれる生涯学習生活をめざしていく中で、精神的なうるおいと安らぎのある市民生活を実現するため、新しい文化の創造と発信が積極的に行われる場として運営していく。そのために、市民のニーズと活用レベルに応じた対応や、気軽に活用できるためのシステムづくりに力を入れている。さらに、大分市出身の世界的建築家磯崎新氏建築作品の模型や資料の展示を行い、建築理念や思想などを紹介していく。

### 7. 2. 施設概要

#### (1) 沿革

昭和 41(1966)年 5月	大分県立大分図書館(磯崎新氏設計)として竣工
昭和 43(1968)年 4月	建築年鑑賞受賞
平成 6(1994)年 8月	大分県立大分図書館新築移転のため閉館
平成 7(1995)年 4月	大分市が無償貸与を受ける
平成 7(1995)年11月	整備工事設計委託契約締結(磯崎新氏設計)
平成 8(1996)年 9月	整備工事契約締結
平成 9(1997)年 9月	アートプラザ条例制定
平成 9(1997)年10月	アートプラザ竣工
平成 10(1998)年 2月	アートプラザ開館
平成 19(2007)年 4月	管理運営に指定管理者制度を導入する

#### (2) 概要

敷地面積	3,686.7 m <sup>2</sup>	建築面積	1,599.945 m <sup>2</sup>
延床面積	4,081.551 m <sup>2</sup>	構造	鉄筋コンクリート造
			地下1階地上3階

### 7. 3. 業務内容

#### (1) 貸館業務

##### 市民ギャラリーA・B (1F)

主として個人やグループによる絵画・書・写真などの創作活動の発表の場として利用できる。また、A・Bを同時使用することもできる。

##### アートホール (2F)

文化・芸術関係団体の展覧会場として、また、各種文化講演会や催事の会場として利用できる。

##### 研修室 (2F)

芸術・文化に関する講座や、一般の会議、研修会にも利用できる。

##### 実技室 (2F)

全紙が充分広げられる作業机・版画制作に必要なプレス機・イーゼル・水道設備も整っている。油絵・日本画・書道・工芸等々、各種制作活動や実技研修に利用できる。

(2) 磯崎新建築資料展示業務 (3F・磯崎新建築展示室)

大分市出身の磯崎新は日本が世界に誇る建築家であり、グローバルに活躍している。彼はその前衛的な作品によってのみならず、建築家としては異例な質と量の著書を通じて、世界の建築思潮に大きな影響を与えてきた。

磯崎建築の初期の傑作である当館(旧大分県立大分図書館)の本展示は、彼の作品・言説両面にわたる巨大な足跡の記録である。

特集1

磯崎新の最近作—日本・中国・ヨーロッパ・中東—

平成19年2月9日(金)～平成20年1月末

特集2

磯崎新 7つの自選展 2008—第1回“7つのヴィッラ”

平成20年2月16日(土)～平成21年1月31日(土)

特集1

平成18年度から引き続き、完成模型や部分模型、最新のスタディ模型、CGによるビジュアル・イメージ、映像などさまざまなメディアにより、21世紀における磯崎芸術の展開を紹介した。

特集2

磯崎氏の喜寿を記念して、2008年に、群馬、イタリアなど各地で順次開催が企画される氏の7つの展示会のスタートをかざるものであり、活動初期から取り組み、プライベートでありながら、実験精神豊富な氏の住宅(villa: ヴィラ)建築に焦点をあて開催。立方体・球体等の形を基本に、様々な手法を駆使し、世界各地で展開される、氏の創造的な住宅建築の数々を紹介した。

【建築模型出品目録】 (特集2)

展示室1 九つの住宅

九つの住宅、九つ間取りの住宅

展示室2 砂漠の住宅

砂漠の家、A邸(荒井邸)

展示室3 日本の住宅

N邸(中山邸)、Y邸(矢野邸)、ASKA山荘、コロニーハーベン、林家舗ハウス

展示室4 ミレニアムハウス

シェイク・アル・サーニ・ヴィッラ、アル・ワブラ・ファーム フェューチャーヴィッラ、うつろひ(宮脇愛子作)、ビデオソフト(Shk. Saud. Villa I～III、Sheikh Saud Al-Wabrah Farm)

展示室5 中国の住宅

青島桂園、杭州湿地公園別荘

展示室6～9

建築家の旅をテーマに、“スクラップブック「旅」”と題し、氏がイタリア、アメリカ、中国などで描いたスケッチや、撮影した写真などを展示。

#### 7.4. 現代美術作品- 大分市美術館所蔵- 常設展示

1960年代に国内外で活動した芸術家たちの作品を中心に大分市美術館の企画により、60年代ホールにおいて展示を行っている。展示作品は大分市美術館所蔵である。

##### 【展示作品について】

大分出身で、1960年代初期のネオ・ダダや、各種パフォーマンス、作品制作、実験映画等の分野で活躍し、2007年に逝去した風倉匠氏の初期から晩年までの作品と、関連の深いネオ・ダダ作家達の、作品を展示した。

会期：平成20年2月16日(土)～平成21年1月31日(土) 場所：60'sホール

	作者	作品名	制作年	寸法(cm)	素材・技法
1	石松 健男	ヴァギナのシーツを纏う風倉匠	1960	103×67	フォトゼログラフィー
2	安斎 重男	風倉匠	1972	27.9×35.6	ゼラチンシルバープリント
3	荒木 経惟	風の振子、風倉匠 Ⅹ	1996	17.5×23.1	ゼラチンシルバープリント
4	風倉 匠	ピアノ狂詩曲 No. 3	1993	183.5×277.5	鉛・ピアノ・ウレタン樹脂
5	風倉 匠	ピアノ狂詩曲 No. 4	1993	185×280	鉛・ピアノ譜面台他
6	赤瀬川原平	米とアルミ	1985	41.4×61	オフセット
7	吉村 益信	ネオン雲プラン 2	1966-67	65.3×91	アクリル・蛍光塗料
8	風倉 匠	FORM EVENT	1976	90.8×73.0	油彩、キャンバス
9	風倉 匠	ON and OFF	不明	71.0×88.0 cm	油彩、キャンバス
10	磯崎 新	孵化過程	1662/1997	120×240×75	油彩、キャンバス
11	吉野 辰海	十字行	1989-92	高 454.0	強化プラスチック
12	風倉 匠	わすれた鳥	1960/1998	79.5×274.2×24.8	鉛・木材・樹脂・波板
13	田中信太郎	蓄音機 I	1963/1996	174×69.2×60.1	レコード・銅筒他
14	荒川 修作	もうひとつのテクスチャー I	1960	213.3×91.5	ミクストメディア
15	升沢 金平	ニューヨークにて	1963	122×95	コラージュ、板
16	平岡 弘子	穴だらけの青春	1959-60	94×68×18	セメント・タイヤ・油絵具
17	三木 富雄	耳	1966頃	42×24.5×9	アルミニウム
18	工藤 哲巳	Paradise	1980	26.0×33.0×21.0	ミクストメディア

## 7.5. 利用案内

### 利用時間・料金

開館時間 午前9時から午後10時まで（ただし、3階磯崎新建築展示室は午後6時まで）

休館日 毎週月曜日（月曜日が祝日の場合はその翌日）。ただし、毎月第1月曜日は開館しその翌日の火曜日が休館。年末年始（12月28日～1月3日）

### 使用料

	4月・5月・10月・11月料金		冷暖房期間中料金 (左記の月を除く期間)
アートホール (427㎡)	1日 (9時～22時)	9,500円	13,300円
	1時間	1,150円	1,610円
研修室 (79㎡)	1時間	690円	960円
実技室 (77㎡)	1時間	210円	290円
市民ギャラリー (338㎡)	1日 (9時～22時)	7,500円	10,500円
A室 (236㎡)	1日 (9時～22時)	5,250円	7,350円
B室 (102㎡)	1日 (9時～22時)	2,250円	3,150円
磯崎新 建築展示室	観覧無料		

- 受付方法 ●使用日の6カ月前から受付を行う。  
 ●ただし、芸術・文化活動以外の会議や研修などは3カ月前から受付を行う。  
 ●また、5日以上連続して行う展覧会については、12カ月前から受付を行う。  
 ●受付時間は、日曜日、祝日及び休館日を除く日の午前9時から午後5時まで。  
 ●空き情報の問い合わせは、午前9時から午後10時まで対応。  
 ●電話等による仮押えは不可。  
 ●使用料は、使用許可の際に事務室の受付窓口で納入。  
 ●大分市公共施設案内・予約システムによる利用は可。

- 交通案内 ・JR大分駅から徒歩10分  
 ・バス 大分合同新聞社前下車  
 ・車 大分自動車道／大分I.C. から15分

### 名称・所在地

アートプラザ  
 〒870-0046 大分市荷揚町3番31号  
 TEL 097-538-5000 FAX 097-538-5060

## 7.6. 利用状況

(単位：人)

	1F		2F				3F	総利用者数
	ギャラリーA	ギャラリーB	アートホール	研修室	実技室	60'sホール	磯崎新建築 模型展示室	
10年度	17,209	14,532	22,398	8,370	1,937	3,607	7,498	75,551
11年度	12,733	10,707	17,600	4,326	3,280	1,663	5,398	55,707
12年度	19,595	15,979	49,831	3,890	3,450	1,454	7,499	101,698
13年度	16,974	11,674	25,298	5,042	4,329	13,111	7,046	83,474
14年度	20,234	15,972	43,515	5,774	4,180	14,510	6,661	110,846
15年度	31,332	24,909	34,215	6,267	4,587	10,126	4,871	116,307
16年度	36,298	31,276	42,928	9,064	4,505	6,730	6,287	137,088
17年度	35,518	35,125	36,161	9,138	3,846	4,676	6,829	131,293
18年度	37,802	32,415	38,629	8,814	4,254	2,655	13,592	138,162
19年度	33,226	25,225	44,118	8,535	4,905	3,514	7,491	127,014

### 7.7. アートプラザ条例

[http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki\\_honbun/aq50206221.html](http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206221.html)

### 7.8. アートプラザ条例施行規則

[http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki\\_honbun/aq50206231.html](http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206231.html)

### 7.9. アートプラザ管理規則

[http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki\\_honbun/aq50206241.html](http://www3.city.oita.oita.jp/reiki/reiki_honbun/aq50206241.html)